

新TNS通信パッケージ(移行版) インストールマニュアル

Windows版

本書は新TNS通信パッケージ移行版のインストールで利用するマニュアルです。

株式会社トヨタシステムズ

2019年1月1日

ver.2.0

総ページ数 69

日付	版数	改訂内容
2003/09/08	1.0	・新規作成。
2010/02/11	1.1	・表紙改訂。 ・改訂履歴を変更。 ・同一利用者名称利用時の対応方法のページ構成を変更。 ・「3. Visual Basicのバージョン確認」を追加。 ・「4. インストーラーの起動」の選択項目を変更。 ・「11. 振分け情報の受信」の確認内容を変更。 ・「12. データ送受信テスト(u-DIEX(汎用)センターとのテスト)」のトラブル発生時確認事項を追加。 ・センタとのテスト時の注意事項を追加。 ・問い合わせ先を追加。 ・表現方法の見直し。
2010/10/01	1.2	・自動ログオフタイマーの初期値変更に伴い、システム環境設定画面を変更。
2014/04/07	1.3	・TNS通信PKGエラー事例集Webページの案内を追加 ・プロセス固有情報のCD-ROM配布による修正
2015/09/16	1.4	・データ送受信テスト時の宛先間違い防止に伴う修正
2018/04/09	1.5	・一部画像を修正
2019/01/01	2.0	・会社名変更

はじめに

作業の前に端末上の業務データをバックアップしていただきますようお願い致します。

作業に当たって次の情報のご用意(把握)をお願い致します。

No.	インストール作業に必要な情報	内容
1	「u-DIEX(汎用)サービス 新TNS通信パッケージ(移行版)」のCD-ROM	移行パッケージが入ったCD-ROM
2	「プロセス固有情報 OXXXYYY_UDCOM. ca」 の記述のあるフロッピーディスクまたはCD-ROM (‘OXXXYYY’はEDI-ID)	プロセス固有情報を保存したフロッピーディスクまたはCD-ROM
3	「プロセスID登録完了のご案内」の資料	プロセスID登録内容の資料
4	「EDI-ID登録完了のご案内」の資料	DIEX(汎用)サービスのユーザパラメータ情報

※1～4はu-DIEX移行申込書を受けまして、弊社より送付いたします。

No.	インストール作業に必要な環境	条件
1	導入対象端末	既に新TNS通信パッケージがインストール済みであること (DIEX(汎用)のデータ送受が可能であること)
		インストールするドライブの空き容量が50MB以上(推奨 200MB以上)であること

移行対象のIDが複数ある場合、弊社から送付している資料の組合せも複数になります。

同一のEDI-IDの「EDI-ID登録完了のご案内」、「プロセスID登録完了のご案内」の組合せを確認してからインストール作業を行います。

※ u-DIEX移行申込書を受け、弊社より送付済みのご案内資料

DIEX汎用サービス
EDI-ID登録完了のご案内

【設定情報】

- ・DIEX汎用サービス契約番号 : DHAAXXXX
- ・アカウント : OXXX
- ・EDI-ID : OXXXYYY
- ・EDI-IDパスワード :
- ・管理サーバーID : ABCDEFGH
- ・管理サーバーパスワード : XXXXXXXX
- ・
- ・

【設定パラメータ情報】

- ・管理サーバーアドレス(プライマリ) : tdcauth1.tns.ne.jp
- ・管理サーバーアドレス(セカンダリ) : tdcauth2.tns.ne.jp
- ・
- ・
- ・

同一情報の組合せを確認する

プロセスID登録完了のご案内

【設定情報】

- ・会社名 : 株式会社 トヨタデジタルクルーズ
- ・旧EDI-ID : OXXXYYY
- ・プロセスID : OXXXYYY@UDCOM

【設定パラメータ情報】

- ・u-DIEXゲートウェイFQDN : p-ftp.u-diex.jp
- ・u-DIEXゲートウェイポートNo : 21
- ・u-DIEXログイン仮パスワード : ABCDEFG
- ・受信パス : /DIEX_COM/UDCOM-OXXXYYY
- ・

※ u-DIEX移行申込書を受け、弊社より送付済みのご案内資料

注意 必ずご確認ください。

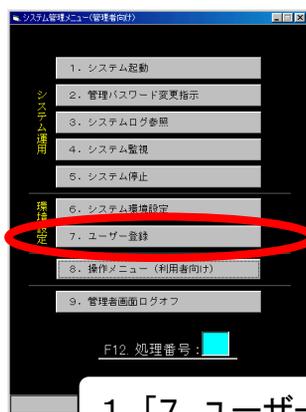
現在DIEX(汎用)サービスをご利用頂くために、使用頂いております通信パッケージの設定において、下記登録が行われておりますと、**同封のパッケージインストール時に問題が発生**いたします。お手数ですが、インストールを行う前に確認をお願いします。

■問題となる登録

ユーザー登録画面において、同一の利用者名称が複数件登録されている場合。

■確認方法

①「システム管理メニュー(管理者向け)」から「7. ユーザー登録」を選択します。



②「利用者名称」を確認します。



利用者名称

11111111

11111111

2. 同一利用者名称が複数行登録されているか確認してください。

■対応方法

同一利用者名称の複数行登録が**ある**場合

次ページの「利用者名称の変更手順」に従って、作業を行って下さい。

同一利用者名称の複数行登録が**ない**場合

「インストール作業手順」に従って、パッケージのインストールを開始して下さい。

利用者名称の変更手順

本作業は、同一利用者名称が複数件登録されているお客様向けです。
複数件登録されていないお客様につきましては必要ありません。

1. はじめに

変更手順には2通りのケースがございます。
お客様の利用状況に合わせて選択してください。

ケース1. 利用していない不要な登録のため、削除してもよい場合 ⇒ 下記参照
ケース2. 利用しており、削除しては問題が生じる場合 ⇒ 次ページ参照

2. 変更手順

ケース1. 利用していない不要な登録のため、削除してもよい場合

ユーザーID	利用者名称	タイプ	取引先コード	リトライ	登録日時
AAAAAAA	11111111	正規	1111001	3	2003/01/08 17:24:49

1 不要な登録がされている行を選択します

2 「F2. 削除」を選択します

管理サーバーへのログオンパスワードを入力して下さい。

ユーザーID: AAAAAAAA

パスワード:

OK キャンセル

3 「管理サーバーパスワード」を入力します

※DIEX(汎用)サービス利用開始時に、弊社より送付させて頂きました「EDI-ID登録完了のご案内」に記載されております。
※大文字、小文字を区別しますのでご注意ください

4 「OK」を選択します

ユーザーID	利用者名称	タイプ	取引先コード	リトライ	登録日時
11111111	11111111	正規	1111000	3	2003/01/08 20:52:12

5 「F4. 更新」を選択します

以上で作業完了です。

2. 変更手順

ケース2. 利用しており、削除しては問題が生じる場合



注意

上位アプリケーションへの対応について

以下の手順では利用者名称を変更します。

上位アプリケーション(※)と連携されている場合には、上位アプリケーションにつきましても変更頂く必要がありますので、十分にご注意願います。

※アプリケーション支援パッケージ(アプリ支援PKG)など

① 削除する利用者情報の内容を控えます。

ユーザーID	利用者名称	取引先コード	リトライ	登録日時	
AAAAAAAA	TTTTTTTT	正規	1111001	3	2003/01/08 17:24:49

1 不要な登録がされている行を選択します

2 「F3. 変更」を選択します

管理サーバーへのログオンパスワードを入力して下さい。

ユーザーID: AAAAAAAAAA

パスワード: []

OK キャンセル

3 「管理サーバーパスワード」を入力します

※DIEX(汎用)サービス利用開始時に、弊社より送付させて頂きました「EDI-ID登録完了のご案内」に記載されております。

※大文字、小文字を区別しますのでご注意ください

4 「OK」を選択します

ユーザー情報

管理サーバー
ログオンユーザーID: AAAAAAAAAA

管理サーバー
ログオンパスワード: AAAAAAAAAA

利用者名称: AAAAAAAAAA

ユーザータイプ: 正規 代理

取引先コード: 1111001

リトライ回数: 3

状況確認
タイマー起動時間: [] 時 [] 分

F1. 登録

F12. 戻る

5 ユーザー情報を控えます

6 「F12. 戻る」ボタンを選択します

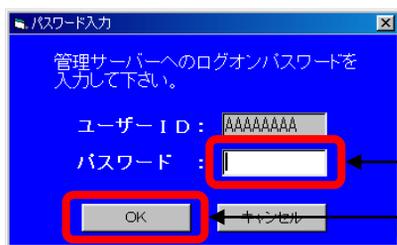
↓ 次のページに続きます。

② 利用者情報を削除します。



1 不要な登録がされている行を選択します

2 「F2. 削除」を選択します



3 「管理サーバーパスワード」を入力します

※DIEX(汎用)サービス利用開始時に、弊社より送付させて頂きました「EDI・ID登録完了のご案内」に記載されております。
※大文字、小文字を区別しますのでご注意ください

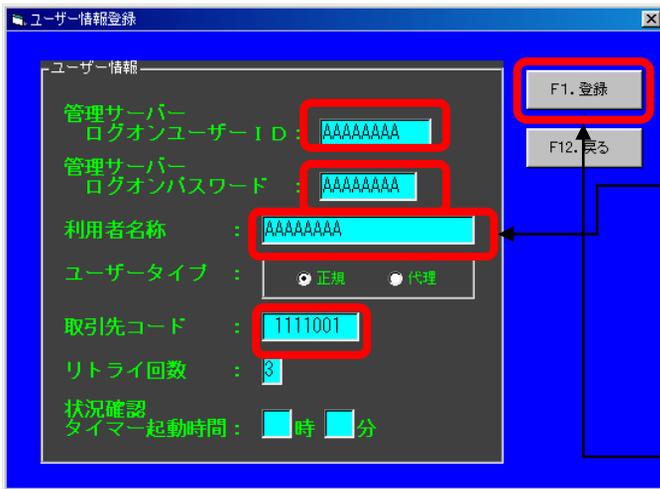
4 「OK」を選択します

↓ 次のページに続きます。

③ 利用者情報を新たに登録します。



「F1. 新規登録」ボタンを選択します



①で控えた情報を元に、必要な情報を入力します
※「利用者名称」につきましては重複していない値を入力してください

※DIEX(汎用)サービス利用開始時に、弊社より送付させて頂きました「EDI-ID登録完了のご案内」に記載されております。
※大文字、小文字を区別しますのでご注意ください

「F1. 登録」ボタンを選択します



「F4. 更新」ボタンを選択します

以上で作業完了です。

インストール作業手順

1. システム停止

2. データのバックアップ

3. Visual Basicのバージョン確認

4. インストーラの起動

5. u-DIEXインストール内容の確認

6. u-DIEX環境の設定

7. u-DIEXのユーザ登録

8. 利用者名称の切替

9. パスワード登録

10. データ送受信テスト
(DIEX(汎用)センターとのテスト)

11. 振分け情報の受信

12. データ送受信テスト
(u-DIEX(汎用)センターとのテスト)

13. 完了連絡

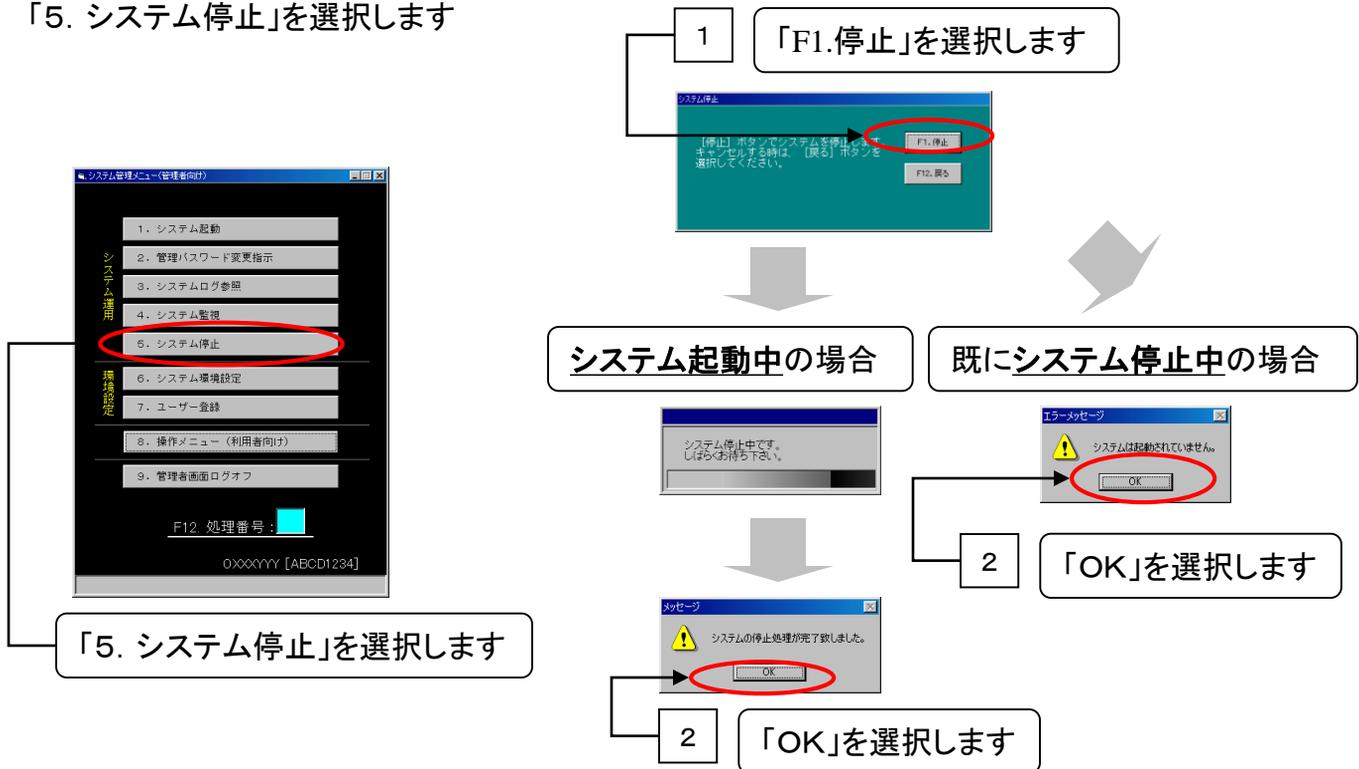
移行対象の
EDI-ID分行います

作業目的

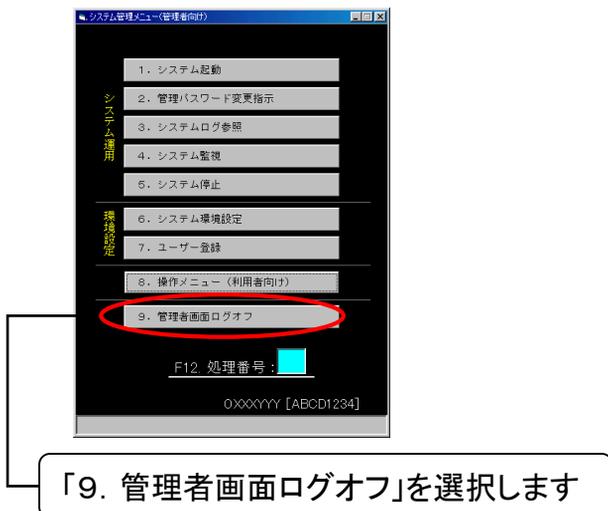
新TNS通信パッケージ(移行版)のインストールを行う前に、システムを停止します。

作業手順

- ①「システム管理メニュー(管理者向け)」から ②「F1. 停止」を選択しシステムを停止します。
「5. システム停止」を選択します



- ③「システム管理メニュー(管理者向け)」から「9. 管理者画面ログオフ」を選択し、
「システム管理メニュー(管理者向け)」画面を終了します



作業目的

新TNS通信パッケージ(移行版)のインストールを行う前に、システムファイルのバックアップを行います。

作業手順

①エクスプローラを使用しインストールドライブにある「EDI」フォルダを選択します。

「編集」→「コピー」を選択します。



1

インストールドライブの「EDI」を選択します

2

「編集」
→「コピー(C)」
を選択します

②インストールドライブを選択し、「編集」→「貼り付け(P)」を選択します。



1

インストールドライブを
選択します

2

「編集」
→「貼り付け(P)」
を選択します

③インストールドライブに「コピー ~ EDI」が作成されたことを確認します。



「EDI」フォルダが
「コピー ~ EDI」の
フォルダ名で
コピーされたことを
確認します。

作業目的

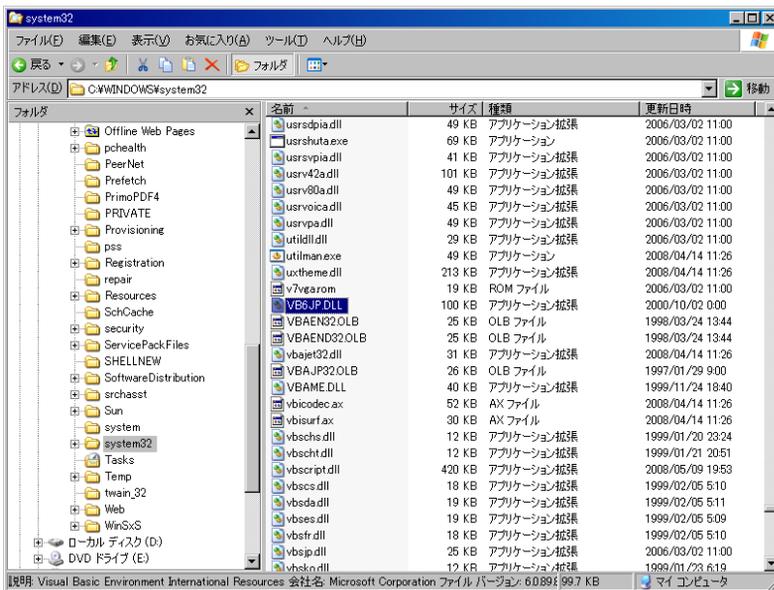
PCに導入されているVisual Basicのバージョンを確認します。

作業手順

①下記フォルダを開きます。

「C:¥WINNT¥system32」 または 「C:¥WINDOWS¥system32」

②VB5JP.DLL (もしくはVB6JP.DLL) を探し、Visual Basicのバージョンを確認します。



VB5JP.DLL
(もしくはVB6JP.DLL)
を探します。

※画面はWindowsXPの場合

- ・「VB5JP.DLL」がある場合、Visual Basicのバージョンは「5」です。
- ・「VB6JP.DLL」がある場合、Visual Basicのバージョンは「6」です。



Visual Basicのバージョンは「5. u-DIEXインストール内容の確認」で使用します。

作業目的

TSより配布しました新TNS通信パッケージ(移行版)のインストーラを起動します。

作業手順

①パソコンを起動して、Windowsにログオンします。



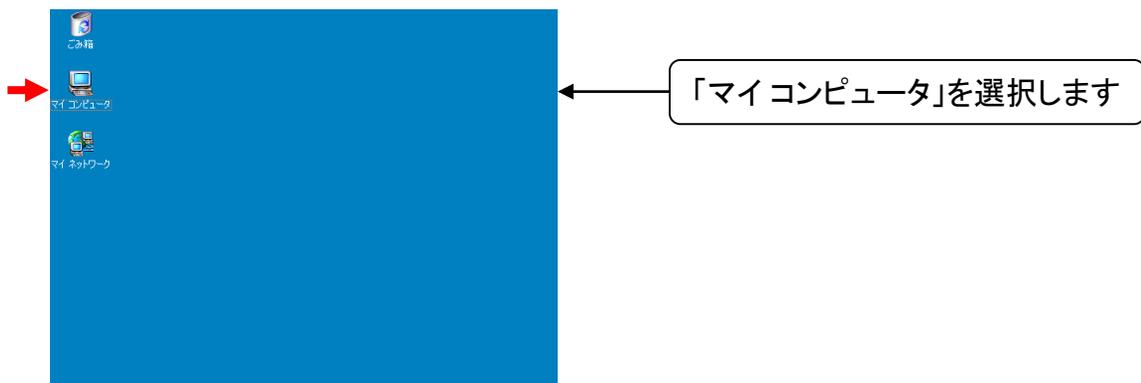
注意

管理者権限のあるユーザでログオンして下さい

・管理者権限(administrator権限)のあるユーザでログオンして下さい。また、インストール後のご使用も、同ユーザで行ってください。

②「新TNS通信パッケージ(移行版)」とシールの貼られたケースに入っているCDを導入対象端末のCD-ROMドライブにセットしてください。

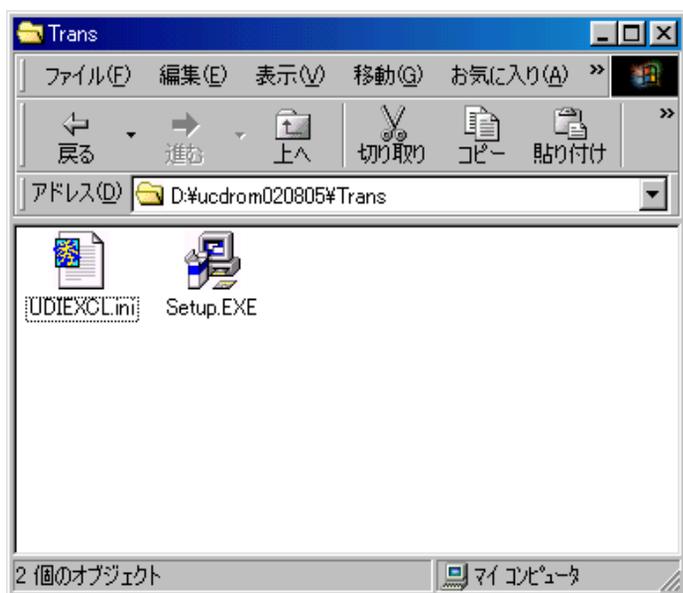
③Windowsのデスクトップより「マイ コンピュータ」を選択します。



④「マイ コンピュータ」から「新TNS通信パッケージ(移行版)」インストール用CD-ROMの入ったドライブを選択し、内容の表示を行います。



⑤CD-ROMの以下のフォルダに保存されている「Setup.exe」を選択し、実行します。



保存フォルダ → CD-ROMドライブ:¥ucdromXXXXXX¥Trans

↑
「XXXXXX」部分は任意の値を表示します

⑥インストール実行画面が表示されますので「次へ(N)」を選択します。「Welcome！」画面を表示します。

1 「Welcome！」画面が表示されます。

2 「次へ(N)」を選択します



3 「初期化中....」が表示されます。

作業目的

インストールプログラムにて表示される確認項目の内容を確認し、プログラムをインストールします

作業手順

- ①「インストールパッケージの確認」画面が表示されます。現在導入済みの新TNS通信パッケージの情報が表示されます。Visual Basicのバージョンを選択して「次へ(N)」ボタンを選択してください。

1 「OSバージョン」でインストールする端末のOSを選択して下さい。

2 「Visual Basicバージョン」で「3. Visual Basicのバージョン確認」で確認したVBのバージョンを選択して下さい

3 「次へ(N)」を選択します



注意 「パッケージタイプ」は変更しないで下さい

・変更した場合、正常に動作しない場合があります。絶対に変更しないで下さい。

- ②「インストール先の表示」画面が表示されます。インストール先ドライブの空きディスク容量を確認し、問題が無ければ「次へ(N)」をクリックしてください。

1 インストール先の空きディスク容量が50000KB以上(推奨200000KB以上)あることを確認してください

2 「次へ(N)」を選択します

- ③インストールの準備が整うと、「インストールの準備を完了しました」と表示されます。
「次へ(N)」ボタンを選択し、インストールを開始してください。

1 「次へ(N)」を選択します



2 「インストール中」を表示します

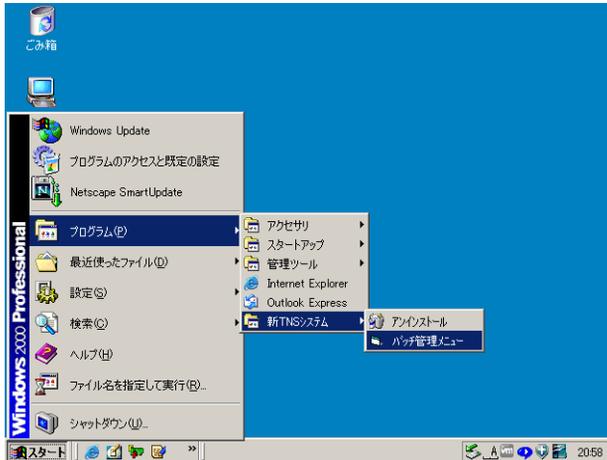
- ④「インストール中」の画面が表示された後、「インストールを完了しました」と表示されます。
「完了(F)」ボタンを選択してインストールプログラムを終了させてください。

作業目的

新TNS通信パッケージ(移行版)のインストール完了後、u-DIEX(汎用)サービスを利用するために必要な設定を実施します。

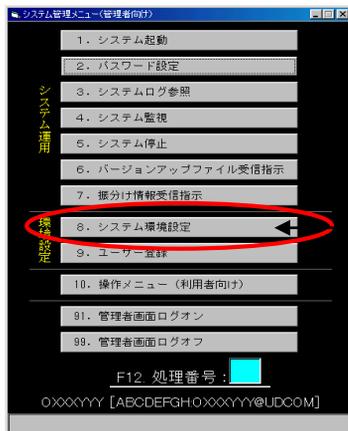
作業手順

- ①端末のWindowsから「スタート」→「プログラム」→「新TNSシステム」→「バッチ管理メニュー」を選択し、「システム管理メニュー(管理者向け)」メニューを表示します。



「バッチ管理メニュー」を選択します

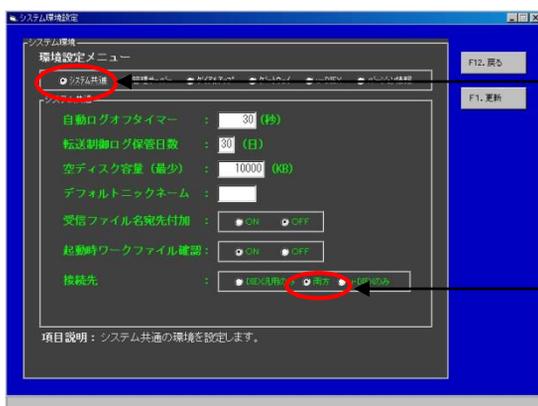
- ②「システム管理メニュー(管理者向け)」から「8. システム環境設定」を選択します。



「8. システム環境設定」を選択します

- ③「システム環境設定」画面を表示します。

「環境設定メニュー」から「システム共通」を選択し、「接続先」を「両方」に設定します。



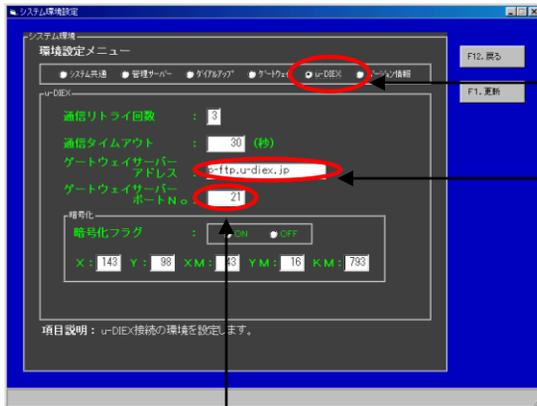
1

「システム共通」を選択します

2

「両方」を選択します

④「環境設定メニュー」から「u-DIEX」を選択して、「ゲートウェイサーバアドレス」および「ゲートウェイサーバポートNo.」欄の内容を確認します。

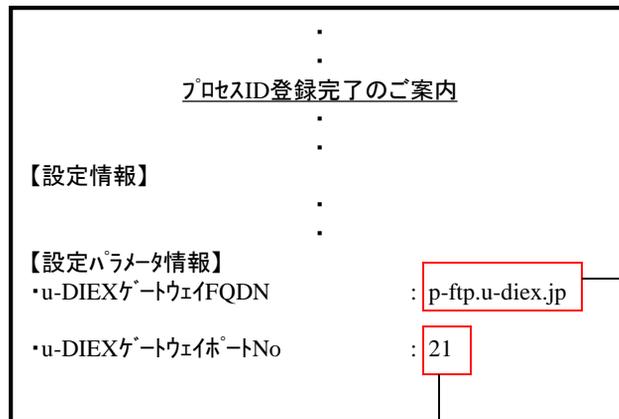


1 「u-DIEX」を選択します

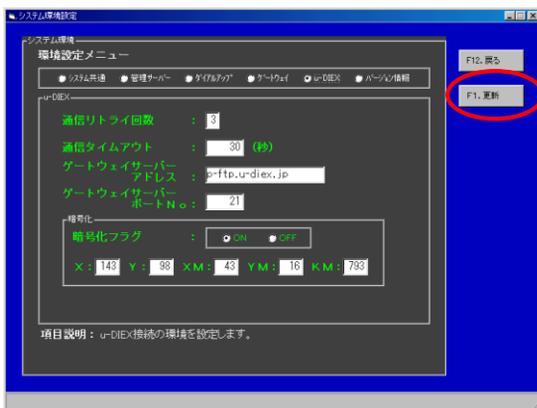
2 「ゲートウェイサーバアドレス」を確認します

3 「ゲートウェイサーバポートNo」を確認します

※ u-DIEX移行申込書を受け、弊社より送付済みのご案内資料

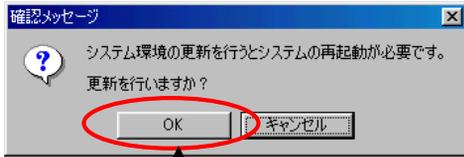


⑤「F1.更新」ボタンを選択して設定内容を保存します。



5 「F1.更新」を選択します

⑥システム再起動の確認メッセージが表示されますので「OK」を選択します。

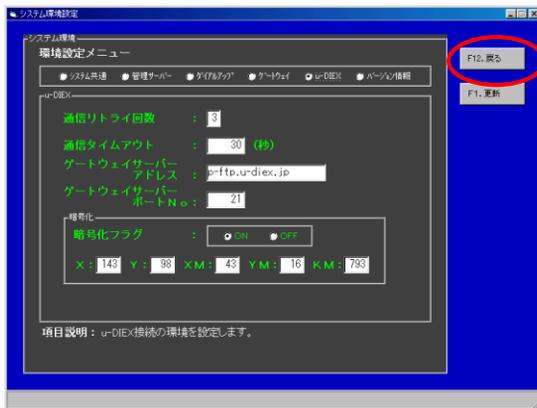


1 「OK」を選択します



2 「OK」を選択します

⑦「F12. 戻る」を選択し「システム環境設定」画面を終了します。



「F12.戻る」を選択します

チェックポイント

No	確認内容	チェック
1	<p>システム環境設定メニューに含まれる各項目は正しく設定されていますか？</p> <p>【確認方法】 システム管理者メニューから「8. システム環境設定」を表示し 設定内容について確認をする → ③ ④</p> <p>【結 果】 間違いなく登録されていることを確認 → ③—1 ③—2</p> <p style="text-align: right;">④—1 ④—2 ④—3</p>	

OKならば次ページに進んでください。

NGならば以下の項目について確認してください。

トラブル発生時確認事項

1. システム環境設定メニューの変更項目が反映されない場合

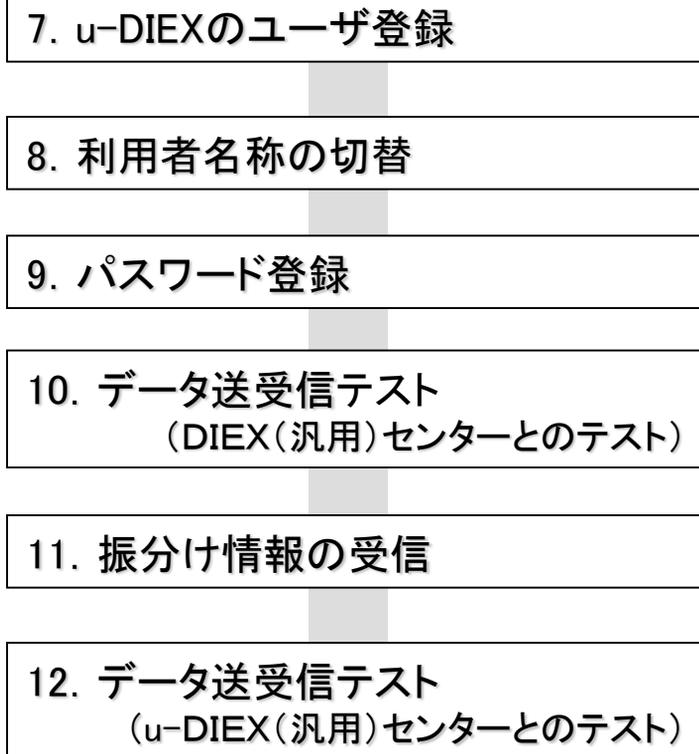
(1) システム環境設定メニューの項目変更後、「F1.更新」ボタンを選択していますか？ → ⑤

※「F12.戻る」ボタンやウィンドウ右上の「×」ボタンを選択した場合は変更内容は反映されません

作業目的

これ以降の作業は「EDI-ID登録完了のご案内」にあるEDI-ID毎に行います。

作業手順



移行対象のEDI-ID分
行います

管理サーバIDを切替える手順は「8. 利用者名称の切替」の
①～③を参照ください

作業目的

新TNS通信パッケージ(移行版)にてu-DIEX(汎用)サービスを利用するため、u-DIEX用ID(プロセスID)の登録を実施します。

作業手順

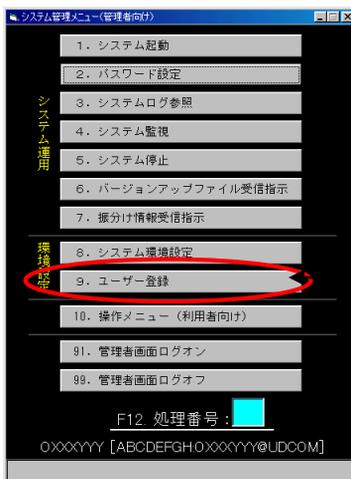


注意

ご加入のEDI-ID(プロセスID)が複数ある場合

- ・本作業(「7. u-DIEXのユーザ登録」)は移行対象のEDI-ID(管理サーバID)分行ってください。(「EDI-ID登録完了のご案内」にある管理サーバID分行います)

①「システム管理メニュー(管理者向け)」から「9. ユーザー登録」を選択します。



「9. ユーザー登録」を選択します。

②「ユーザー登録」画面が表示されます。

DIEX(汎用)サービスにて利用しているIDが表示されますので、「EDI-ID登録完了のご案内」にある「管理サーバーID」の行を選択した後、「F3.変更」を選択します。

※ u-DIEX移行申込書を受け、弊社より送付済みのご案内資料

DIEX汎用サービス
EDI-ID登録完了のご案内

【設定情報】

- ・DIEX汎用サービス契約番号 : DHAAXXXX
- ・アカウント : OXXX
- ・EDI-ID : OXXXXYY
- ・EDI-IDパスワード :
- ・管理サーバーID : ABCDEF GH
- ・管理サーバーパスワード : XXXXXXXX

.

【設定パラメータ情報】

- ・管理サーバーアドレス(プライマリ) : tdcauth1.tns.ne.jp
- ・管理サーバーアドレス(セカンダリ) : tdcauth2.tns.ne.jp

.

.

.



1

移行対象IDの「EDI-ID登録完了のご案内」にある管理サーバIDを選択します

2

「F3. 変更」を選択します

③「パスワード入力画面」が表示されます。

移行対象のIDに対応する「管理サーバーパスワード」を入力し、「OK」ボタンを選択してください。

1 「管理サーバーパスワード」を入力する

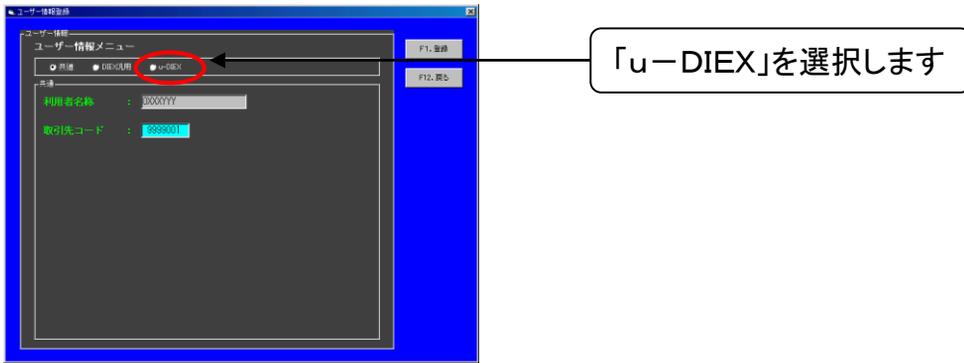
※大文字、小文字を区別しますのでご注意ください

2 「OK」を選択します

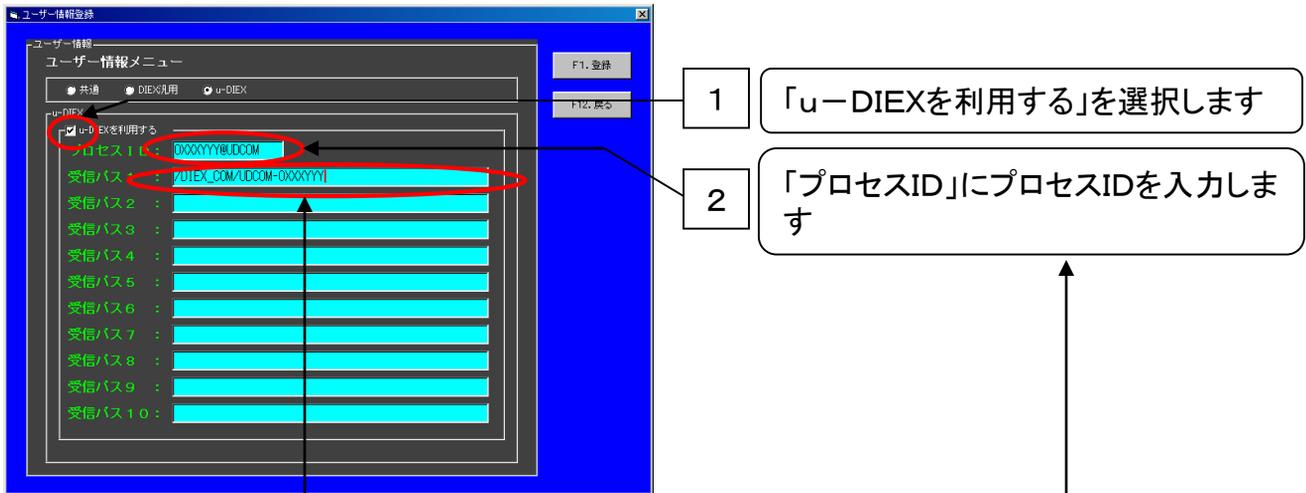
※ u-DIEX移行申込書を受け、弊社より送付済みのご案内資料

DIEX汎用サービス EDI・ID登録完了のご案内	
【設定情報】	
・DIEX汎用サービス契約番号	: DHAAXXXX
・アカウント	: OXXX
・EDI-ID	: OXXXYYY
・EDI-IDパスワード	:
・管理サーバーID	: ABCDEFGH
・管理サーバーパスワード	: XXXXXXXXX
	.
	.
【設定パラメータ情報】	
・管理サーバーアドレス(プライマリ)	: tdcauth1.tns.ne.jp
・管理サーバーアドレス(セカンダリ)	: tdcauth2.tns.ne.jp
	.
	.
	.

- ④「ユーザー情報登録」画面が表示されますので、必要情報を入力しu-DIEXユーザを登録します。
ユーザー情報メニューの中から「u-DIEX」を選択します。



プロセスIDに関する入力項目が表示されますので、「プロセスID登録完了のご案内」から必要情報を登録します。



3 「受信パス1」を入力します

プロセスID登録完了のご案内

...

【設定情報】

- ・会社名 : 株式会社 トヨタデジタルクルーズ
- ・プロセスID : OXXXXYYY@UDCOM

【設定パラメータ情報】

- ・u-DIEXゲートウェイFQDN : p-ftp.u-diex.jp
- ・u-DIEXゲートウェイポートNo : 21
- ・u-DIEXログイン仮パスワード : ABCDEFG
- ・受信パス : /DIEX_COM/UDCOM-OXXXXYYY

※ u-DIEX移行申込書を受け、弊社より送付済みのご案内資料

「F1.登録」ボタンを選択してユーザー情報を登録します



4

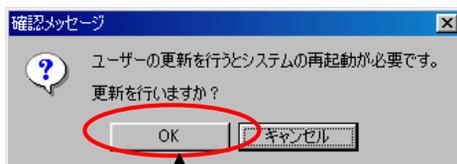
「F1.登録」を選択します

⑤「ユーザ情報登録」画面を表示しますので、「F4.更新」を選択して登録内容を保存します。



1

「F4.更新」を選択します



2

「OK」を選択します



3

「OK」を選択します

⑥「F12.戻る」ボタンを選択して「ユーザー登録」画面を終了します。



「F12. 戻る」を選択します。

チェックポイント

No	確認内容	チェック
1	ユーザー情報メニューに含まれる各項目は正しく設定されていますか？ 【確認方法】 システム管理者メニューから「9. ユーザー登録」を選択し、 「ユーザー情報登録」画面を確認する → ①～④ 【結果】 登録に間違いが無いことを確認 → ④	

OKならば次ページに進んでください。

NGならば以下の項目について確認してください。

トラブル発生時確認事項

1. ユーザ登録情報の変更項目が反映されない場合

(1) 「ユーザー情報登録」画面の項目を変更した場合、「F1. 登録」ボタンを選択していますか？

→ ④ — 4

※「F12.戻る」ボタンやウィンドウ右上の「×」ボタンを選択した場合は、変更内容は保存されません

(2) 「ユーザー登録」画面において「F4. 更新」ボタンを選択していますか？ → ⑤ — 1

※「F12.戻る」ボタンやウィンドウ右上の「×」ボタンを選択した場合は、変更内容は保存されません

作業目的

新TNS通信パッケージに複数のIDが登録されている場合、送受信テストに使用するIDを使い分けるためにIDの切替を実施します。

- ① 「システム管理メニュー(管理者向け)」にある「DIEX汎用ユーザID」の表示が移行作業を行う「EDI-ID登録完了のご案内」にある「管理サーバID」と一致するか確認します。

- ・一致の場合、「9. パスワード登録」へ進みます。「8. 利用者名称の切替」は必要ありません。
- ・不一致の場合、②に進みます。「8. 利用者名称の切替」を行います。

※ u-DIEX移行申込書を受け、弊社より送付済みのご案内資料

The image shows a screenshot of the 'システム管理メニュー(管理者向け)' (System Management Menu for Administrators) on the left. The menu items are: 1. システム起動, 2. パスワード設定, 3. システムログ参照, 4. システム監視, 5. システム停止, 6. バージョンアップファイル受信指示, 7. 振分け情報受信指示, 8. システム環境設定, 9. ユーザー登録, 10. 操作メニュー (利用者向け), 91. 管理者画面ログオン, 99. 管理者画面ログオフ. At the bottom, there is a field for 'F12 処理番号' with a value '0XXXXXX [ABCDEFGHO XXXYYY@UDCOM]' where 'ABCDEFGHO' is circled in red. On the right is a document titled 'DIEX汎用サービス EDI-ID登録完了のご案内'. It contains the following information:

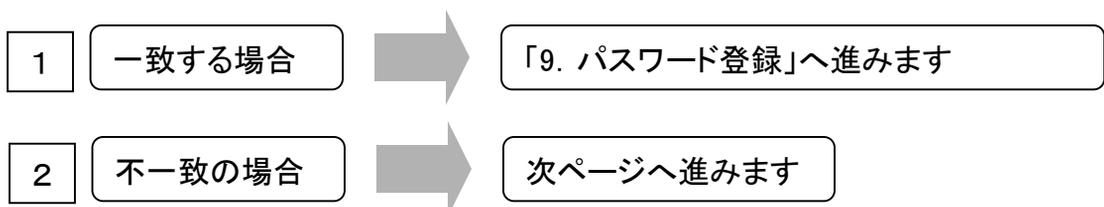
【設定情報】

- ・DIEX汎用サービス契約番号 : DHAAXXXX
- ・アカウント : OXXX
- ・EDI-ID : OXXXXYYY
- ・EDI-IDパスワード :
- ・管理サーバID : ABCDEFGH
- ・管理サーバパスワード : XXXXXXXX

【設定パラメータ情報】

- ・管理サーバアドレス(プライマリ) : tdcauth1.tns.ne.jp
- ・管理サーバアドレス(セカンダリ) : tdcauth2.tns.ne.jp

移行作業を行うDIEX汎用ユーザID(管理サーバID)の値と一致するかを確認します



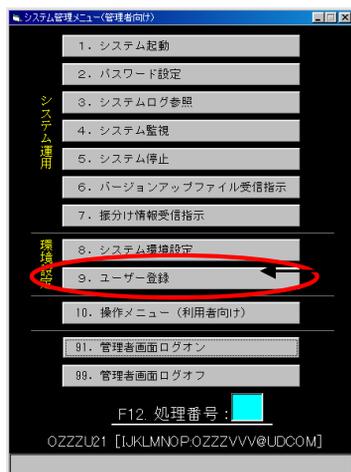
②利用者名称の切替を行う為、ユーザ登録情報を確認します。



注意

本作業を行う条件について

・「システム管理メニュー(管理者向け)」にある「DIEX汎用ユーザID」の表示が「EDI-ID登録完了のご案内」にある「管理サーバID」と一致する場合、この作業(②~③)を行う必要はありません。

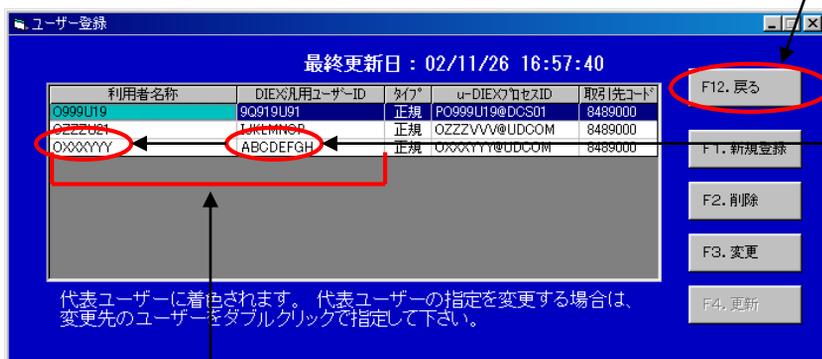


1

「ユーザー登録」を選択します

3

「F12.戻る」を選択します



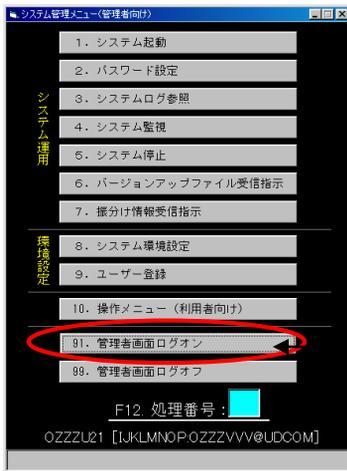
2

「EDI-ID登録完了のご案内」の管理サーバIDに対応する「利用者名称」を確認する。
(表示例は「管理サーバID: ABCDEF GH」→「利用者名称: OXXXXYY」の場合)

DIEX汎用サービス EDI-ID登録完了のご案内	
【設定情報】	
・DIEX汎用サービス契約番号	: DHAAXXXX
・アカウント	: OXXX
・EDI-ID	: OXXXXYY
・EDI-IDパスワード	:
・管理サーバID	: ABCDEF GH
・管理サーバパスワード	: XXXXXXXX
	:
	:

※ u-DIEX移行申込書を受け、弊社より送付済みのご案内資料

③利用者名称の切替を行います。



1

「管理者画面ログオン」を選択します



2

「選択」ボタンを選択します



3

前ページの②— ②で確認した「利用者名称」を選択します



4

「F1.変更」を選択します



5

「OK」を選択します



- 6 表示中の「利用者名称」が、「EDI-ID登録完了のご案内」の管理サーバーIDに対応する「利用者名称」に変更されたことを確認します。

作業目的

u-DIEX(汎用)サービス利用の為、プロセスIDに対応するパスワードを登録します。

作業手順

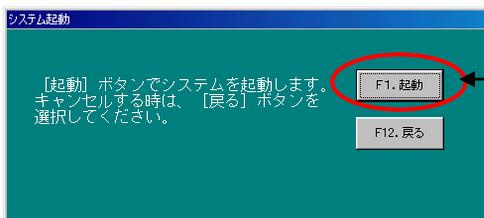
①「システム管理メニュー(管理者向け)」から「1. システム起動」を選択します。



「1. システム起動」を選択します

②システム起動確認の画面が表示されます。

「F1.起動」を選択して新TNS通信パッケージのシステム起動を実施してください。
最後に「OK」を選択します。



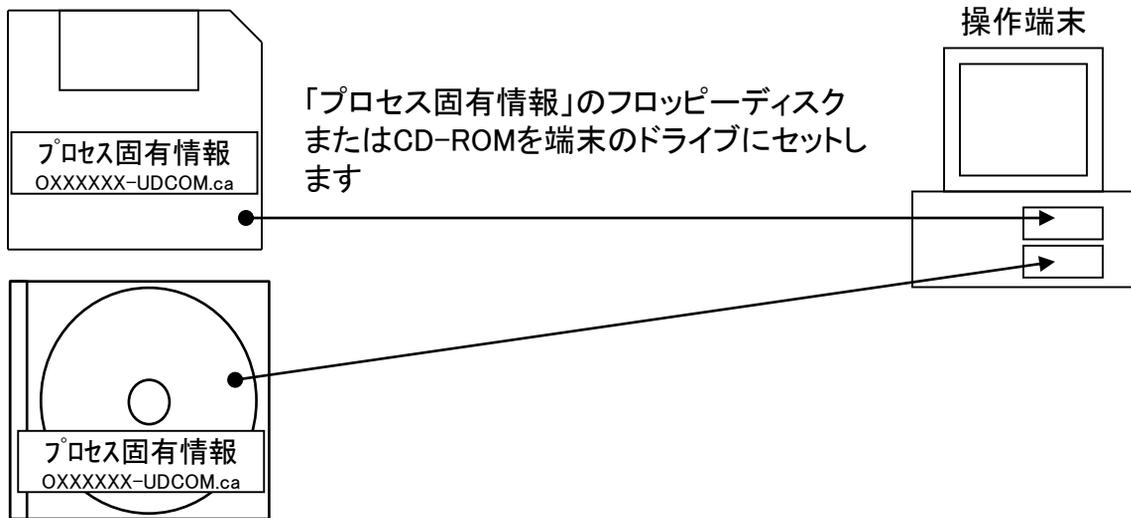
「F1. 起動」を選択します



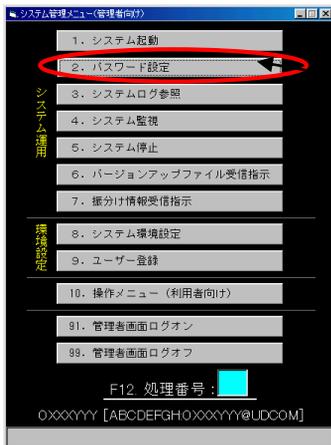
「OK」を選択します

③「パスワード設定」を行います。

弊社から送付した「プロセス固有情報」のフロッピーディスクまたはCD-ROMをドライブにセットしてください。



④「システム管理メニュー（管理者向け）」から「2. パスワード設定」を選択します。



「2. パスワード設定」を選択します

⑤「パスワード設定」画面が表示されますので、必要情報を登録します。



注意 パスワードの管理について

- ・「パスワード設定」画面で設定した本パスワードは一度設定してしまうと変更できません。
- ・本パスワードとして入力できる値は英数字のみで大文字、小文字を区別します。
- ・本パスワードは再インストール時に必要になりますので、忘れないように管理して下さい。
また、プロセス固有情報も必要になりますので、フロッピーディスクも大切に保管して下さい。

1 「u-DIEXパスワード」を選択します

2 「仮パスワード」に「プロセスID登録完了のご案内」に記載されている「u-DIEXログイン仮パスワード」を入力してください

※大文字、小文字を区別しますのでご注意ください

3 「本パスワード」に任意の8文字以内の文字列を入力します。

※本パスワードとして入力できる値は英数字のみです
※大文字、小文字を区別しますのでご注意ください

4 「プロセス固有情報」の「選択」ボタンを選択します

プロセスID登録完了のご案内

【設定情報】

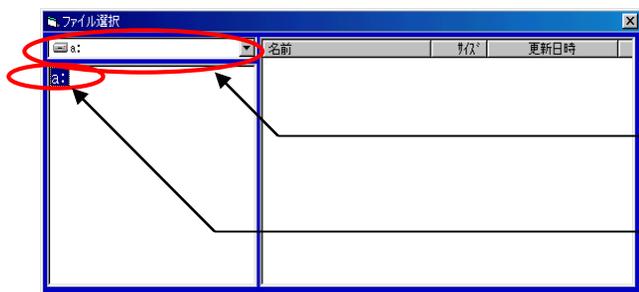
・会社名 : 株式会社 トヨタデジタルクルーズ
・プロセスID : OXXXXYY@UDCOM

【設定パラメータ情報】

・u-DIEXゲートウェイFQDN : XXXX.u-diex.jp
・u-DIEXゲートウェイポートNo : 21
・u-DIEXログイン仮パスワード : ABCDEFG
・受信パス : /DIEX_COM/UDCOM-OXXXXYY

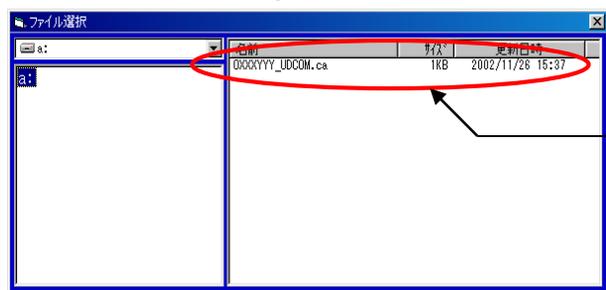
※ u-DIEX移行申込書を受け、弊社より送付済みのご案内資料

- ⑥「ファイル選択」画面でプロセス固有情報を保存したフロッピーディスクまたはCD-ROMの情報を指定します



1 ディスクドライブを選択します

2 ドライブ名を選択します



3 フロッピーディスクの内容が表示されますので、「OXXXXYYY_UDCOM.ca」をダブルクリックします

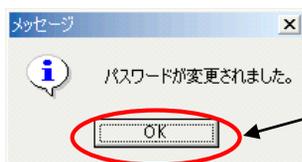
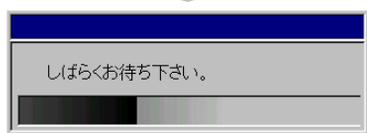
※'OXXXXYYY'はEDI-ID

- ⑦プロセス固有情報ファイルの選択が完了すると、「パスワード設定」画面に戻ります。

「F1.変更指示」ボタンを選択し、パスワードの登録を実施します。



1 「F1.変更指示」を選択します



2 「OK」を選択します

チェックポイント

No	確認内容	チェック
1	<p>パスワードは正しく登録されましたか？</p> <p>【確認方法】 システム管理者メニューから「2. パスワード登録」を選択後、必要な情報を入力し、「F1.変更指示」をクリック → ⑦-1</p> <p>【結果】 「パスワードが変更されました」のメッセージが表示されることを確認 → ⑦-2</p>	

OKならば次ページに進んでください。

NGならば以下の項目について確認してください。

トラブル発生時確認事項

1. 通信パッケージのシステム起動は完了していますか？
システム管理メニューから「1. システム起動」を選択し、システム起動を実施してください。
→ 「9. パスワード登録 ①～②」

2. 仮パスワードは正しく入力されていますか？
仮パスワードの入力においては大文字と小文字が区別されます。入力内容が画面に表示されませんので注意してパスワードの入力を実施してください。
→ 「9. パスワード登録 ⑤-2」

3. u-DIEX(汎用)サービス用プロセスIDの登録は完了していますか？
プロセスIDの登録が完了していない場合、「パスワード設定」画面にて「u-DIEXパスワード」が選択できません。
「7. u-DIEX のユーザ登録」の手順にてプロセスIDの登録が完了しているか、再度確認してください。

4. システム環境設定メニューの接続先が「DIEX汎用のみ」になっていませんか？
接続先は「両方」を選択します。
→ 「6. u-DIEX環境の設定 ③」

5. プロセス固有情報ファイルの指定を間違たファイルで選択していませんか？

選択したファイルの指定が誤っていないか確認してください。

→ 「9. パスワード登録 ⑥」

6. FW、ルータ等の通信機器のIPフィルタリング透過設定は正しく登録されていますか？

u-DIEXセンターとの透過設定を確認してください。

通信パッケージ導入端末(貴社)		通信開始方向	u-DIEXセンター	
IPアドレス	ポートNo.		FQDN	ポートNo.
XXX.XXX.XXX.XXX	ANY	←	p-ftp.u-diex.jp	20
		→	p-ftp.u-diex.jp	21

※u-DIEXセンターのIPアドレスは弊社までお問い合わせ下さい。

7. VPNの設定登録は完了していますか？

JNX経由でu-DIEX(汎用)サービスをご利用いただく場合、事前に「u-DIEXセンター」とのVPN設定登録が完了している必要があります。

JNXセンターホームページよりご確認ください。

URL: <http://www.xo.jnx.ne.jp/>

作業目的

新TNS通信パッケージ(移行版)にてDIEX(汎用)サービスが利用できることを確認するため、
自分宛てにデータの送受信を行います。

作業手順

①テストデータの準備(作成)を行います。

任意の情報でテキストファイルを作成し、保存します。



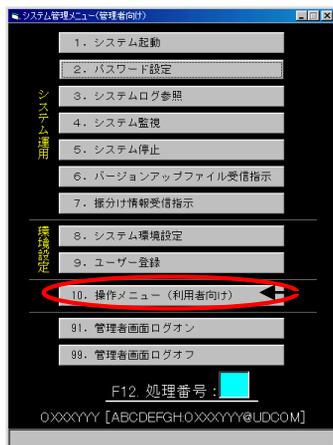
テストデータ作成例

メモ帳等を使用しテストデータを作成し保存します

※ファイル名、保存場所は任意です

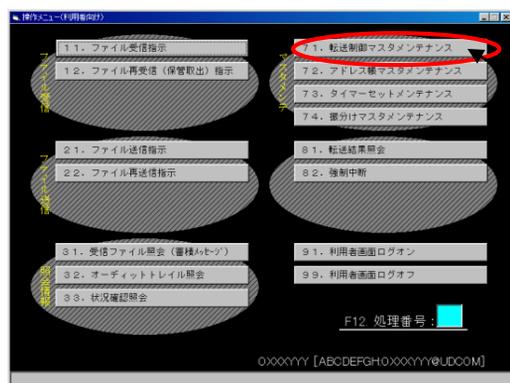
※作成したデータは「12.データ送受信テスト」でも使用します

②「システム管理メニュー(管理者向け)」から「10. 操作メニュー(利用者向け)」を選択します。



「10. 操作メニュー(利用者向け)」を選択します

③「操作メニュー(利用者向け)」から「71. 転送制御マスタメンテナンス」を選択します。



「71. 転送制御マスタメンテナンス」を選択します

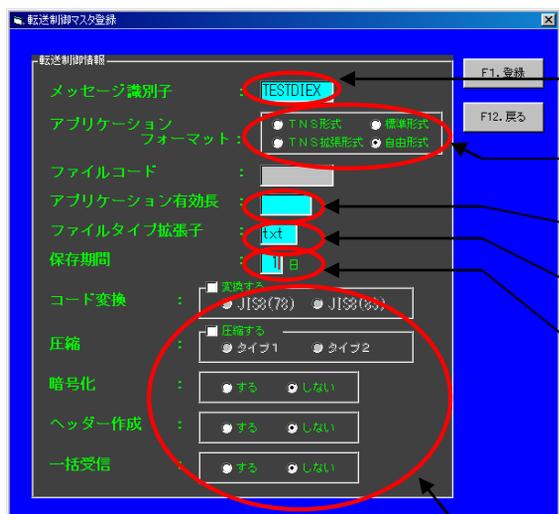
10. データ送受信テスト(DIEX(汎用)センターとのテスト)

④「71. 転送制御マスタメンテナンス」から「F2.新規登録」を選択します。



「F2.新規登録」を選択します

⑤「転送制御マスタ登録」画面から転送制御情報を入力します。



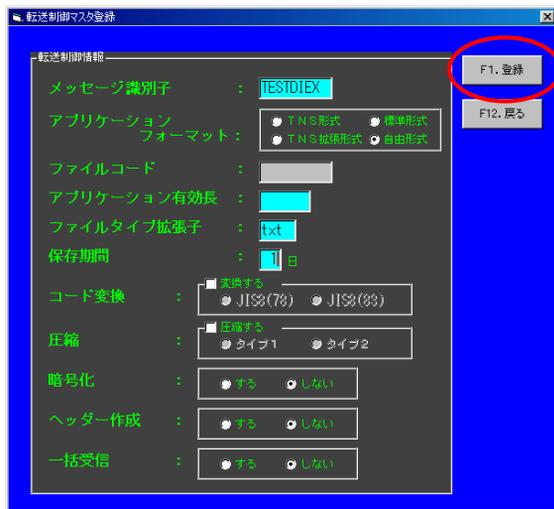
- 1 「TESTDIEX」を入力してください
- 2 「自由形式」を選択してください
- 3 何も入力しないでください(空白)
- 4 「txt」を入力してください
- 5 「1」を入力してください
- 6 上記以外の項目は変更しないで下さい

(入力値例)

項番	転送制御情報	入力値
1	メッセージ識別子	TESTDIEX
2	アプリケーションフォーマット	自由形式
3	アプリケーション有効長	空白(記入無し)
4	ファイルタイプ拡張子	txt
5	保存期間	1
6	コード変換	チェック無し(変換しない)
	圧縮	チェック無し(圧縮しない)
	暗号化	しない
	ヘッダー作成	しない
	一括受信	しない

10. データ送受信テスト(DIEX(汎用)センターとのテスト)

⑥転送制御情報を「F1.登録」を選択して登録します。



1

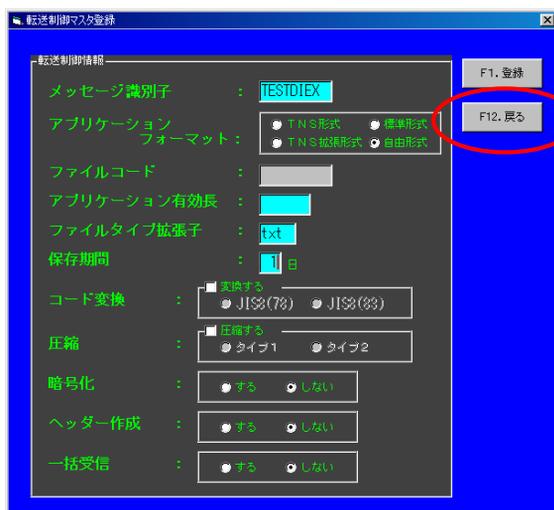
「F1.登録」を選択してください



2

「OK」を選択してください

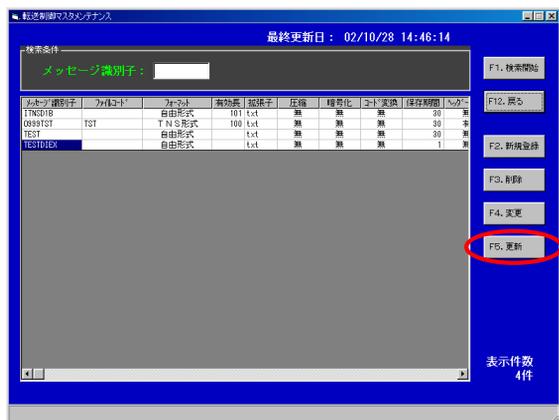
⑦「F12.戻る」を選択して転送制御情報を終了します。



「F12.戻る」を選択します

10. データ送受信テスト(DIEX(汎用)センターとのテスト)

⑧「転送制御マスタメンテナンス」画面で「F5.更新」を選択し、入力した情報を更新します。

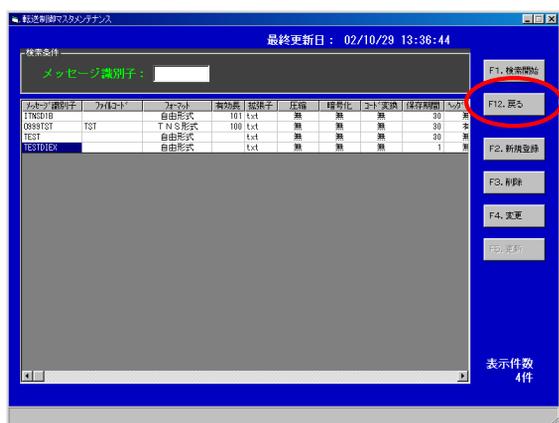


「F5.更新」を選択します



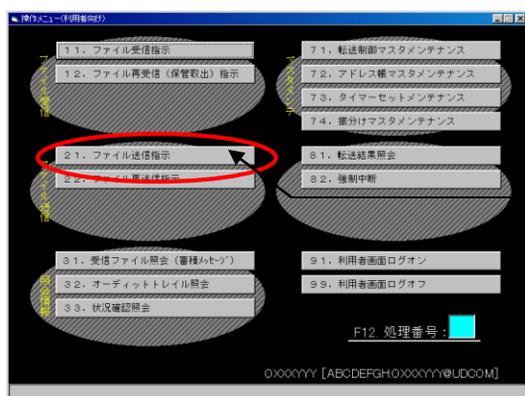
「OK」を選択します

⑨「F12.戻る」を選択して「転送制御マスタメンテナンス」画面を終了します。



「F12.戻る」を選択します

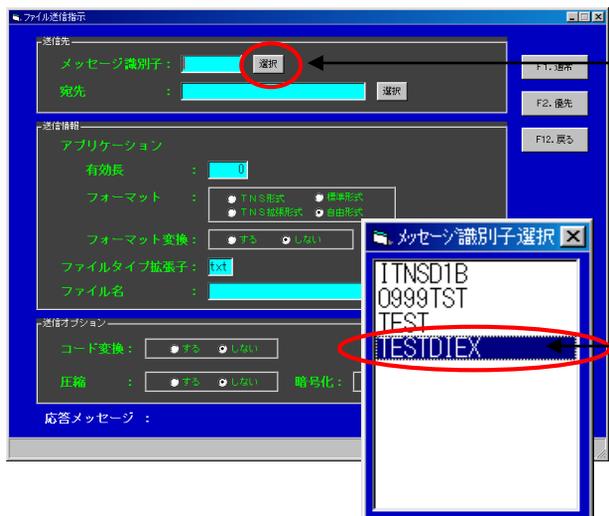
⑩「10. 操作メニュー(利用者向け)」から「21. ファイル送信指示」を選択します。



「21.ファイル送信指示」を選択します

10. データ送受信テスト(DIEX(汎用)センターとのテスト)

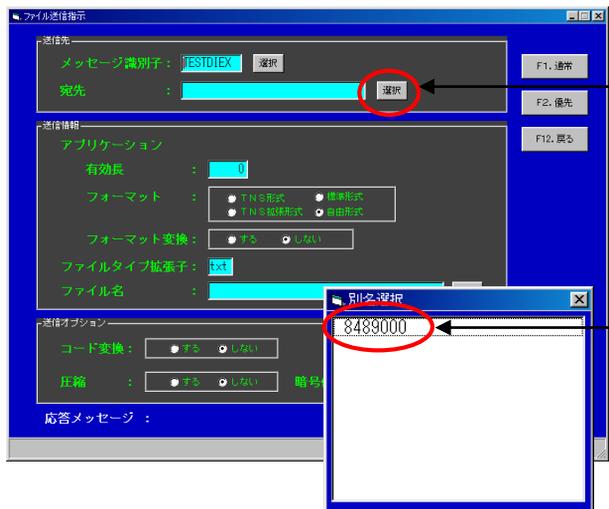
⑪ 「ファイル送信指示」画面で「メッセージ識別子」を設定します。



1 メッセージ識別子の「選択」ボタンを選択してください

2 登録した「TESTDIEX」のメッセージ識別子をダブルクリックします。

⑫ 「ファイル送信指示」画面で「宛先」を設定します。



1 宛先の「選択」ボタンを選択してください

2 「別名選択」画面から自分自身の取引コードをダブルクリックします。

※ 誤って自分自身の別名以外を指定しないようご注意ください



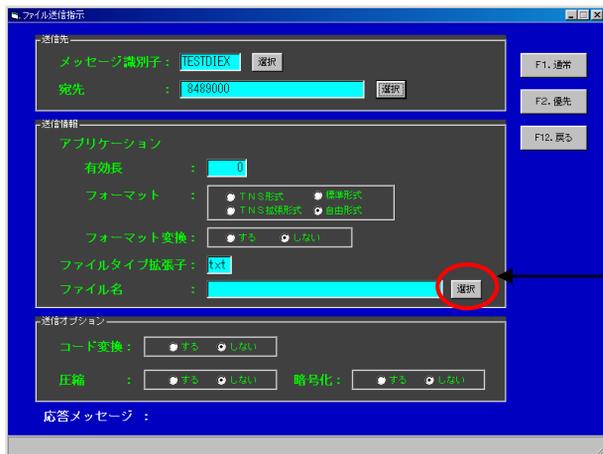
注意

宛先は確実にお客様自身のEDI-IDを選択してください

誤ってお客様自身のEDI-ID以外にデータを送信した場合、**送信先の業務が停止する可能性があります。**
宛先の指定には充分ご注意ください。

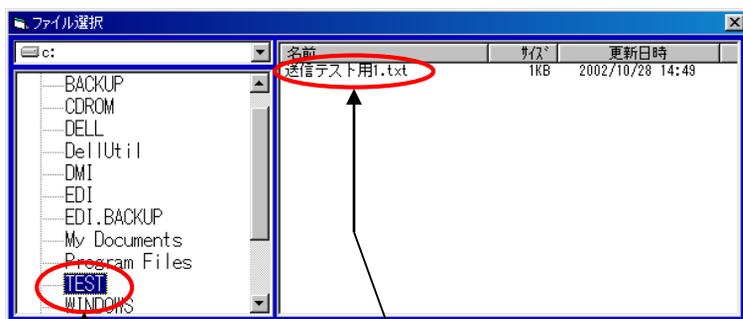
10. データ送受信テスト(DIEX(汎用)センターとのテスト)

⑬ 「ファイル送信指示」画面で「ファイル名」を設定します。



1

ファイル名の「選択」ボタンを選択してください



3

作成したファイルをダブルクリックします

※表示例はテストデータ名を「送信テスト用1.txt」で作成の場合

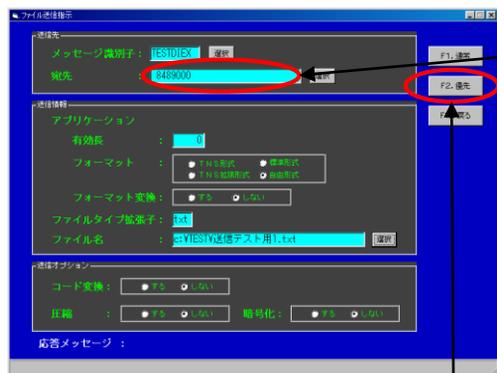
2

作成済みテストデータを保存したフォルダを選択します

※表示例はテストデータの保管場所を「C:¥TEST」フォルダ配下に保管した場合

10. データ送受信テスト(DIEX(汎用)センターとのテスト)

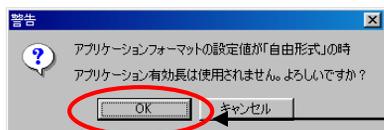
⑭ 「F2.優先」選択しデータを送信します。



1 宛先を最終確認します

注意 宛先は確実にお客様自身のEDI-IDを選択してください
誤ってお客様自身のEDI-ID以外にデータを送信した場合、
送信先の業務が停止する可能性があります。
宛先の指定には充分ご注意ください。

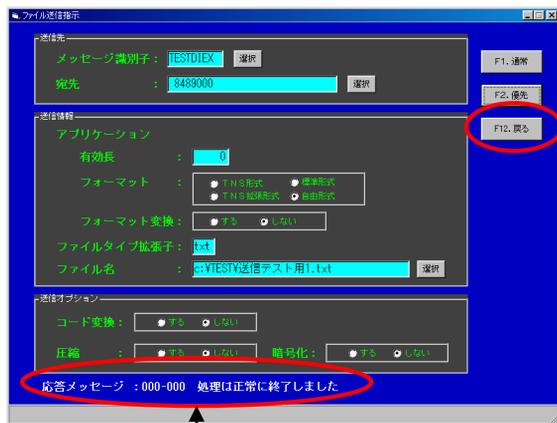
2 「F2.優先」を選択します



3 「OK」を選択します



⑮ 処理が正常に終了したことを確認します。



1 「F12. 戻る」を選択します

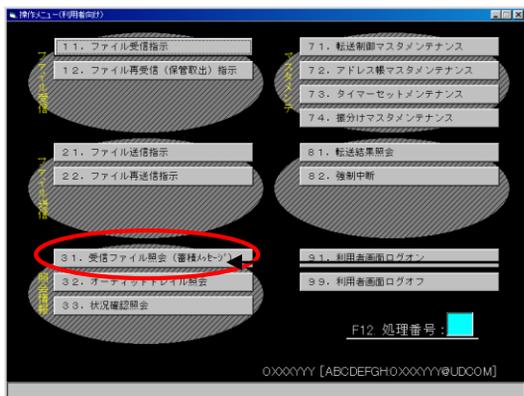
1

「応答メッセージ」に「000-000 処理は正常に終了しました」が表示することを
確認します

※000-000以外の場合はコードを確認し弊社窓口までご連絡願います。

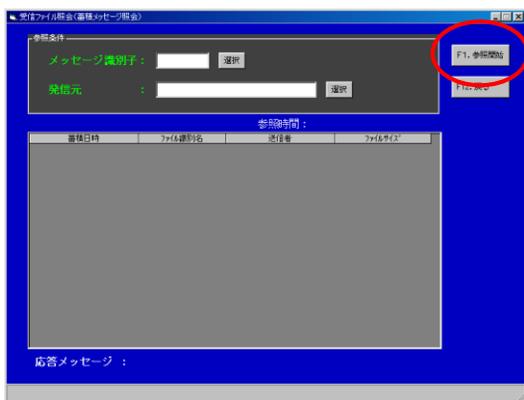
10. データ送受信テスト(DIEX(汎用)センターとのテスト)

⑩ データの送信結果を確認するため「31. 受信ファイル照会(蓄積メッセージ)」を選択します。

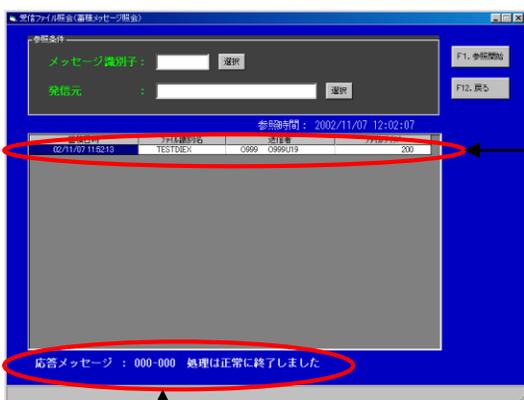


「31. 受信ファイル照会(蓄積メッセージ)」を選択します。

⑪ 「受信ファイル照会(蓄積メッセージ照会)」を表示しますので、「F1.参照開始」を選択します。



1 「F1.参照開始」を選択します



3 送信したデータが照会できることを確認します。

2 「応答メッセージ」に「000-000 処理は正常に終了しました」が表示することを確認します

※000-000以外の場合はコードを確認し弊社窓口までご連絡願います。

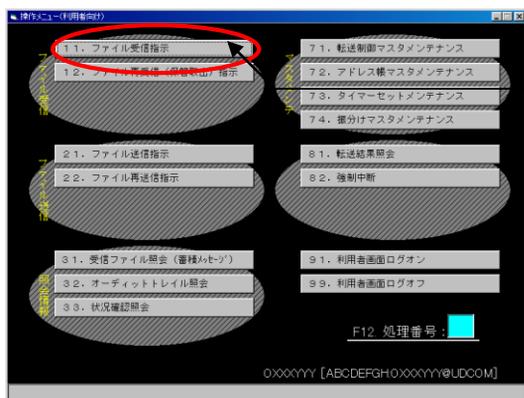
10. データ送受信テスト(DIEX(汎用)センターとのテスト)

- ⑱ 「F12.戻る」を選択し、「受信ファイル照会(蓄積メッセージ照会)」を終了します。



「F12.戻る」を選択します

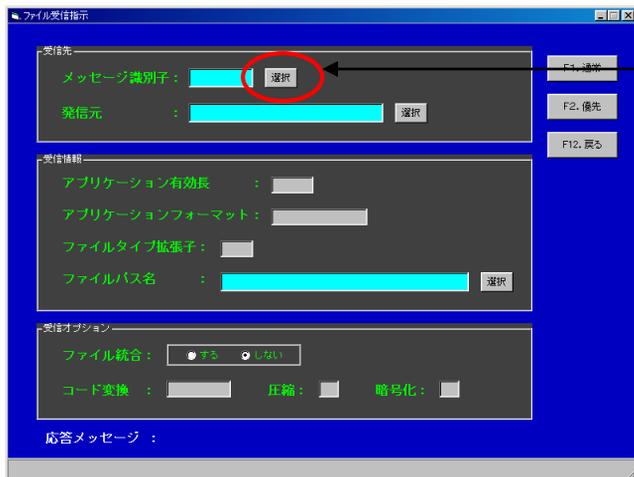
- ⑲ 送信データを受信するため「10. 操作メニュー(利用者向け)」から「11. ファイル受信指示」を選択します。



「11.ファイル受信指示」を選択します

10. データ送受信テスト(DIEX(汎用)センターとのテスト)

⑩ 「ファイル受信指示」画面で「メッセージ識別子」を設定します。

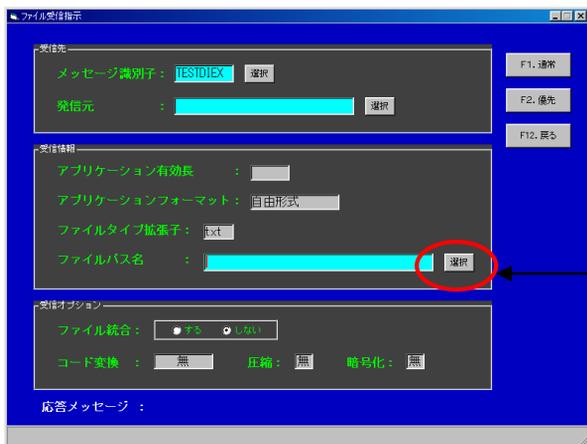


1 メッセージ識別子の「選択」ボタンを選択してください

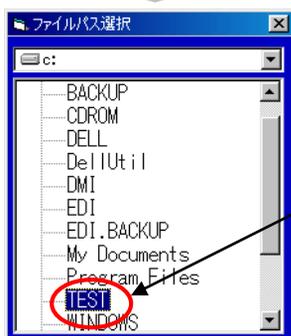


2 登録した「TESTDIEX」のメッセージ識別子をダブルクリックします。

21. 「ファイル受信指示」画面で「ファイルパス名」を設定します。



1 ファイルパス名の「選択」ボタンを選択してください



2 「ファイルパス選択」画面から送信テスト用のファイルと同一のパスをダブルクリックします

10. データ送受信テスト(DIEX(汎用)センターとのテスト)

22.「F2.優先」選択しデータを受信します。

ファイル受信指示

受信先
メッセージ識別子: TESTDIEX 選択
発信元: [Redacted] 選択

受信情報
アプリケーション有効長: [Redacted]
アプリケーションフォーマット: 自由形式
ファイルタイプ拡張子: txt
ファイルパス名: c:\YTESTY 選択

受信オプション
ファイル統合: F2 しない
コード変換: 無 圧縮: 無 暗号化: 無

応答メッセージ:

「F2.優先」選択します



23.処理が正常に終了したことを確認します。

ファイル受信指示

受信先
メッセージ識別子: TESTDIEX 選択
発信元: [Redacted] 選択

受信情報
アプリケーション有効長: [Redacted]
アプリケーションフォーマット: 自由形式
ファイルタイプ拡張子: txt
ファイルパス名: c:\YTESTY 選択

受信オプション
ファイル統合: F2 しない
コード変換: 無 圧縮: 無 暗号化: 無

応答メッセージ: 000-000 処理は正常に終了しました

2 「F12. 戻る」を選択します

1

「応答メッセージ」に「000-000 処理は正常に終了しました」が表示することを確認します

※000-000以外の場合はコードを確認し弊社窓口までご連絡願います。

10. データ送受信テスト(DIEX(汎用)センターとのテスト)

24.受信したデータファイルに問題ないことを確認します。

エクスプローラ等で、受信したフォルダにファイルが存在し、内容が正しいことを確認します。



- ・受信したファイルが存在することを確認します
- ・ファイルを開いて内容が正しいことを確認します

1

受信したファイルのあるフォルダを選択します

チェックポイント

No	確認内容	チェック
1	<p>データの送信は正常に行えましたか？</p> <p>【確認方法】 1. 送信時の応答メッセージを確認します。 → ⑬</p> <p>2. 「操作メニュー(利用者向け)」から「31. 受信ファイル照会(蓄積メッセージ)」の「F1.参照照会」を選択する。→ ⑮- 1</p> <p>【結果】 1. 「000-000 処理は正常に終了しました」を表示することを確認します。→⑬</p> <p>2. 送信データが存在することを確認。→ ⑮- 2</p>	
2	<p>データの受信は正常に行えましたか？</p> <p>【確認方法】 1. 送信時の応答メッセージを確認します。 → 21</p> <p>2. データの受信したフォルダにファイルが存在し、ファイルの内容が正しいことを確認します→ 22</p> <p>【結果】 1. 「000-000 処理は正常に終了しました」を表示することを確認します。→ 22</p> <p>2. 受信データが正しいことを確認。→ 22</p>	

OKならば次ページに進んでください。

NGならば以下の項目について確認してください。

トラブル発生時確認事項

現象を弊社窓口までご連絡願います。

作業目的

u-DIEXセンターから「振分け情報」をダウンロードします。

作業手順

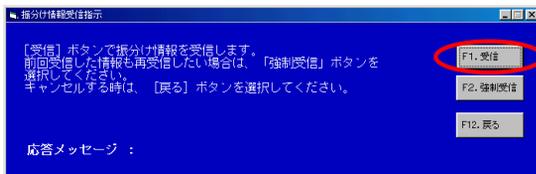
①「システム管理メニュー(管理者向け)」から「7. 振分け情報受信指示」を選択します。



「7. 振分け情報受信指示」を選択します

②「F1.受信」を選択し振分け情報の受信を実施します。

受信完了後、「F12.戻る」ボタンを選択します。

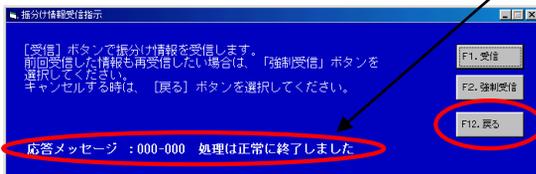


1 「F1.受信」を選択してください



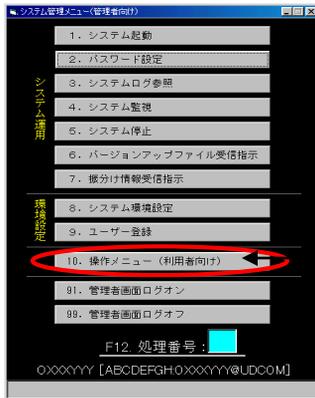
2 「応答メッセージ」に「000-000 処理は正常に終了しました」が表示することを確認します。

※000-000以外の場合はコードを確認し弊社窓口までご連絡願います。



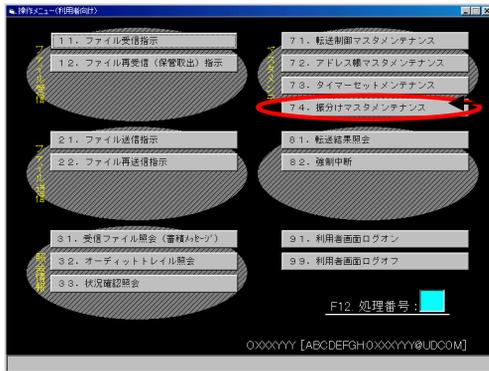
3 「F12.戻る」を選択してください

- ③「システム管理メニュー(管理者向け)」画面から「10. 操作メニュー(利用者向け)」を選択し、「操作メニュー(利用者向け)」画面を表示します。



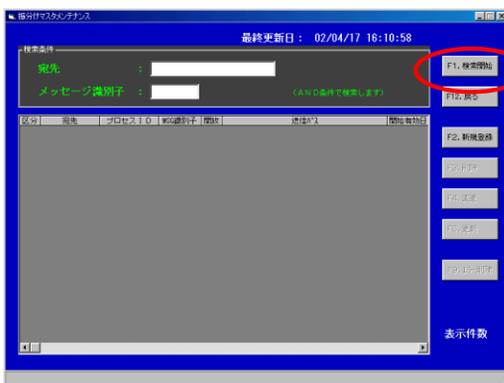
「10. 操作メニュー(利用者向け)」を選択します

- ④「操作メニュー(利用者向け)」画面から「74. 振分けマスタメンテナンス」を選択します。



「74. 振分けマスタメンテナンス」を選択します

- ⑤「振分けマスタメンテナンス」画面にて「F1.検索開始」を選択します。



「F1.検索開始」を選択します

⑥ 「F1.検索開始」の選択で表示される情報を確認します。



下記のプロセスIDと、その開始有効日をご確認下さい。

- ① 自身のプロセスID
- ② パートナー登録の申込書に書かれた相手先のプロセスID

区分	宛先	プロセスID	...	開始有効日
自動	(自身のEDI-ID)	(自身のEDI-ID)@UDCOM	...	プロセスID利用開始日
自動	(相手先のEDI-ID)	(相手先のEDI-ID)@UDCOM	...	パートナー登録開始日
.
.
.

チェックポイント

No	確認内容	チェック
1	<p>振分け情報は正常に受信できましたか？</p> <p>【確認方法】 システム管理者メニューから「7. 振分け情報受信指示」を選択後、「F1.受信」ボタンをクリック → ②-1</p> <p>【結果】 「000-000 振分け情報の受信が完了しました」のメッセージが表示されることを確認 → ②-2</p>	
2	<p>振分け情報は新TNS通信パッケージに取り込まれていますか？</p> <p>【確認方法】 操作メニュー(利用者向け)から「74. 振分けマスタメンテナンス」を選択後、「F1.新規検索」ボタンを選択（検索条件欄はブランクのまま結構です）→ ⑤</p> <p>【結果】 自身のプロセスIDとパートナー登録の申込書に書かれた相手先のプロセスIDが振分け情報が表示されることを確認 → ⑥</p>	

OKならば次ページに進んでください。

NGならば以下の項目について確認してください。

トラブル発生時確認事項

1. u-DIEXセンターに振分け情報が保存されているか？

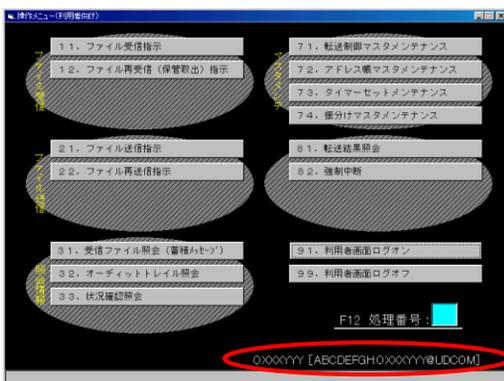
「F1.受信」ボタンクリック後、「841-550 フォルダ、ファイル未存在または、アクセス権なし」のメッセージが表示された場合、u-DIEXセンターの登録がされていない可能性があります。 → ②-1
弊社までお問合せください。

2. 振分けマスタメンテナンスに想定するIDの振分け情報が登録されていない

センターに保存されている振分け情報テーブルの記載内容に誤りがある可能性があります。 → ⑥
弊社までお問合せください。

3. 移行用のEDI-IDでログインしているか？

「操作メニュー(利用者向け)」画面の右下にu-DIEX(汎用)サービス用のID(「OXXXXYY@UDCOM」の形式)が表示されていることを確認してください。 → ④



u-DIEX(汎用)サービスの移行対象用のEDI-IDであることを確認します

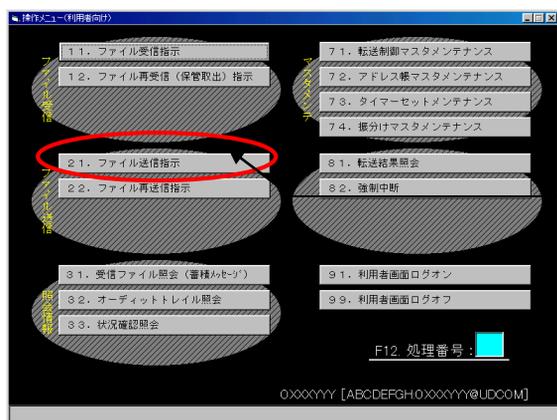
12. データ送受信テスト(u-DIEX(汎用)センターとのテスト)

作業目的

新TNS通信パッケージ(移行版)にてu-DIEX(汎用)サービスが利用できることを確認するために、自分宛てにデータの送受信試験を行います。

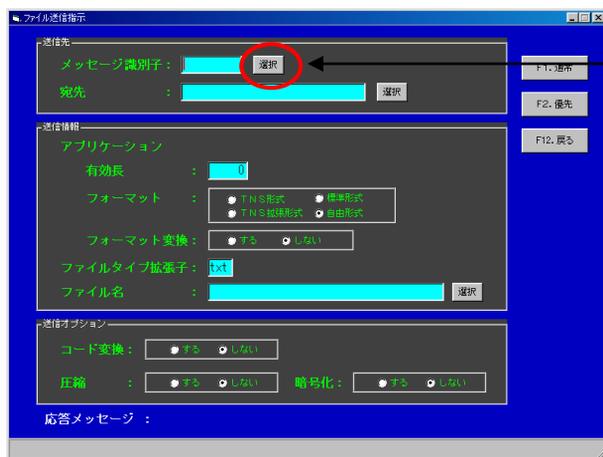
作業手順

① 「10. 操作メニュー(利用者向け)」から「21. ファイル送信指示」を選択します。



「F21.ファイル送信指示」を選択します

② 「ファイル送信指示」画面で「メッセージ識別子」を設定します。



1

メッセージ識別子の「選択」ボタンを選択してください

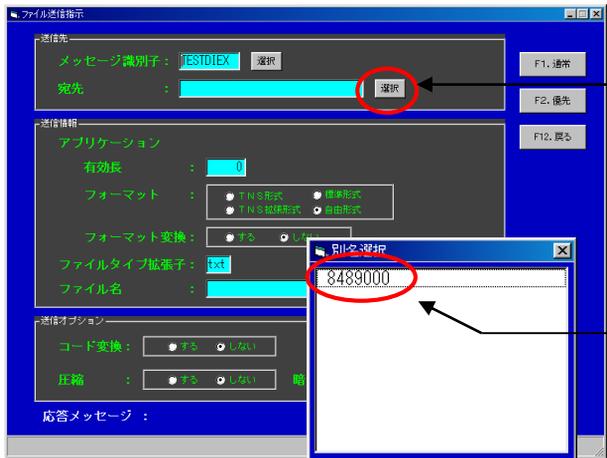


2

登録した「TESTDIEX」のメッセージ識別子をダブルクリックします。

12. データ送受信テスト(u-DIEX(汎用)センターとのテスト)

③ 「ファイル送信指示」画面で「宛先」を設定します。



1

宛先の「選択」ボタンを選択してください

2

「別名選択」画面から自分自身の取引コードをダブルクリックします。

※ 誤って自分自身の別名以外を指定しないようご注意ください

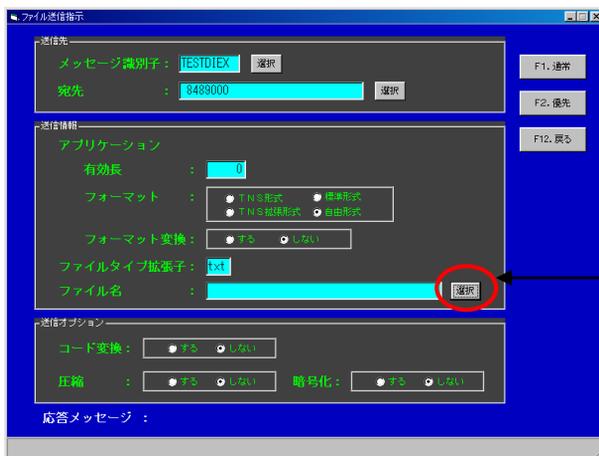


注意

宛先は確実にお客様自身のEDI-IDを選択してください

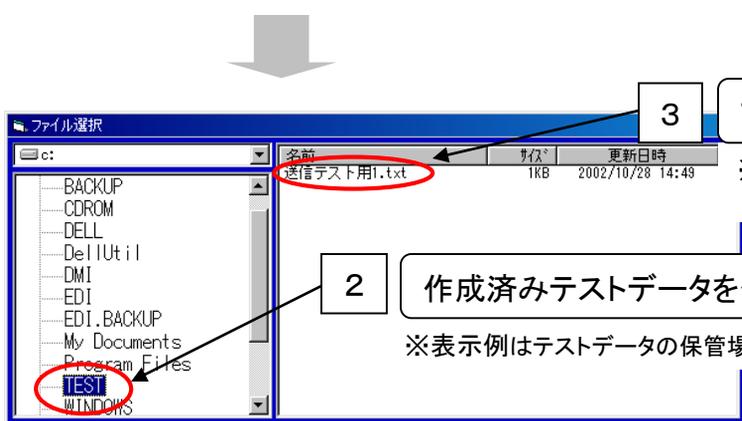
誤ってお客様自身のEDI-ID以外にデータを送信した場合、**送信先の業務が停止する可能性があります。**
宛先の指定には充分ご注意ください。

④ 「ファイル送信指示」画面で「メッセージ識別子」を設定します。



1

ファイル名の「選択」ボタンを選択してください



3

ファイルをダブルクリックします

※ 表示例はテストデータ名を「送信テスト用1.txt」で作成の場合

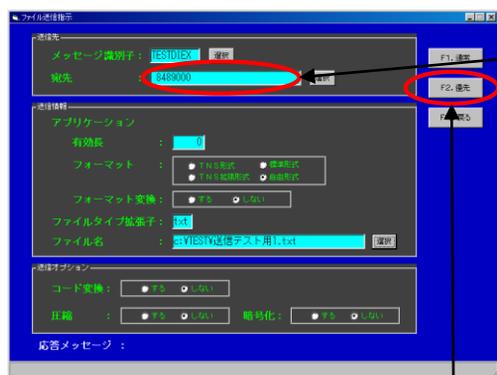
2

作成済みテストデータを保存したフォルダを選択します

※ 表示例はテストデータの保管場所を「C:\TEST」フォルダ配下に保管した場合

12. データ送受信テスト(u-DIEX(汎用)センターとのテスト)

⑤ 「F2. 優先」選択しデータを送信します。



1 宛先を最終確認します

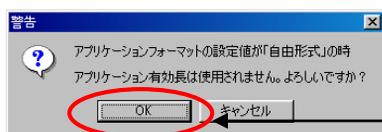


注意

宛先は確実にお客様自身のEDI-IDを選択してください

誤ってお客様自身のEDI-ID以外にデータを送信した場合、
送信先の業務が停止する可能性があります。
宛先の指定には充分ご注意ください。

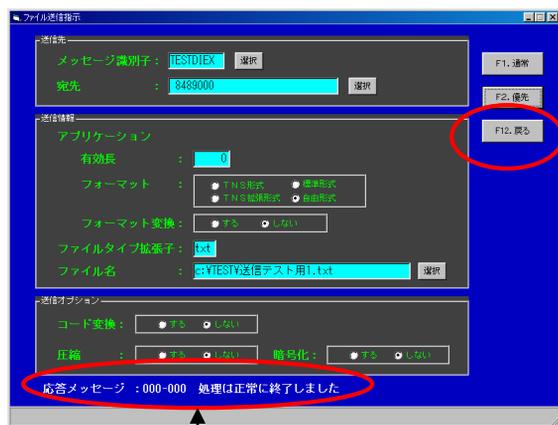
2 「F2.優先」を選択します



3 「OK」を選択します



⑥ 処理が正常に終了したことを確認します。



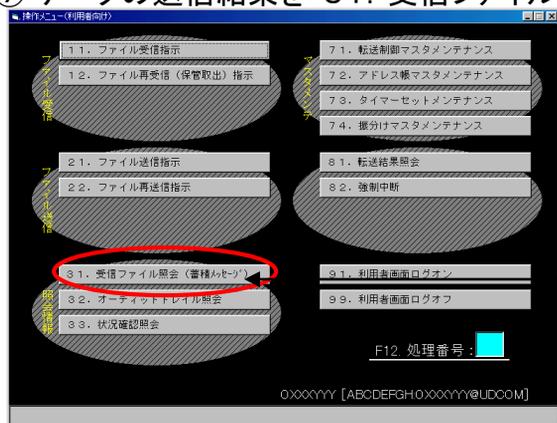
1 「F12. 戻る」を選択します

1 「応答メッセージ」に「000-000 処理は正常に終了しました」が表示することを確認します

※000-000以外の場合はコードを確認し弊社窓口までご連絡願います。

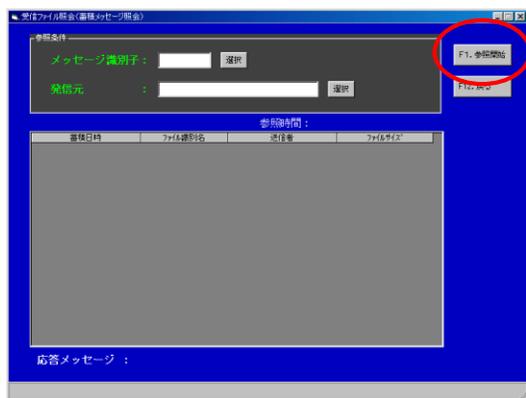
12. データ送受信テスト(u-DIEX(汎用)センターとのテスト)

⑦ データの送信結果を「31. 受信ファイル照会(蓄積メッセージ)」から確認します。

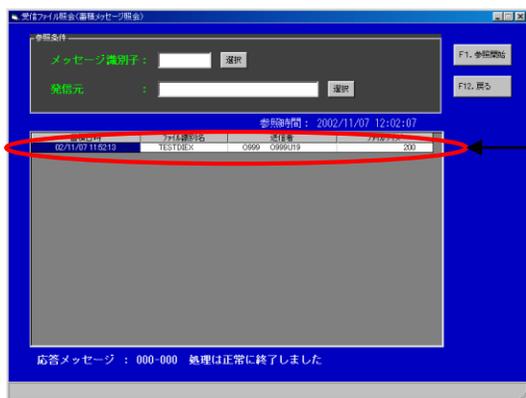


「31. 受信ファイル照会(蓄積メッセージ)」を選択します。

⑧ 「受信ファイル照会(蓄積メッセージ照会)」を表示しますので、「F1.参照開始」を選択します。



1 「F1.参照開始」を選択します



2 送信したデータが照会できることを確認します。

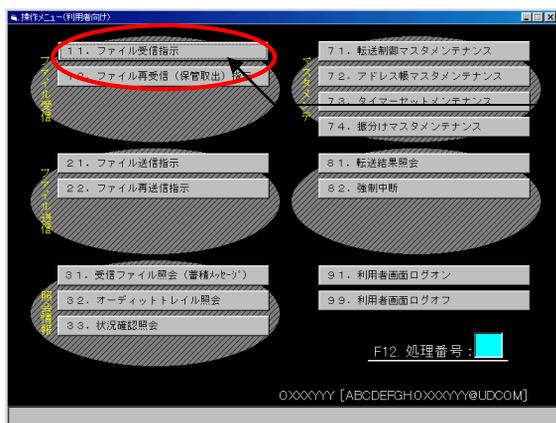
12. データ送受信テスト(u-DIEX(汎用)センターとのテスト)

- ⑨ 「F12.戻る」を選択し、「受信ファイル照会(蓄積メッセージ照会)」を終了します。



「F12.戻る」を選択します

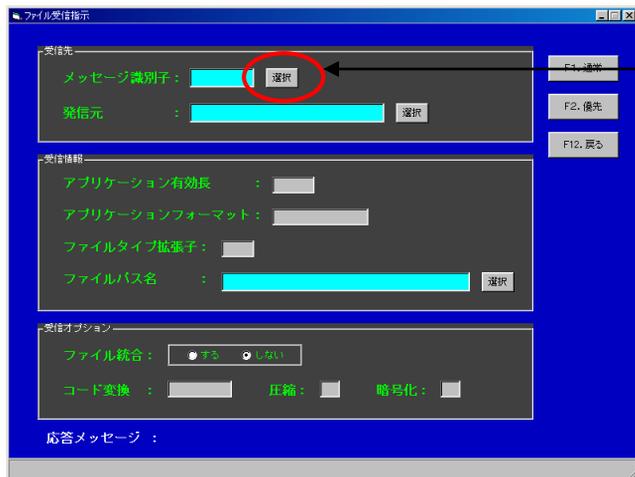
- ⑩ 「10. 操作メニュー(利用者向け)」から「11. ファイル受信指示」を選択します。



「11.ファイル受信指示」を選択します

12. データ送受信テスト(u-DIEX(汎用)センターとのテスト)

⑪「ファイル受信指示」画面で「メッセージ識別子」を設定します。

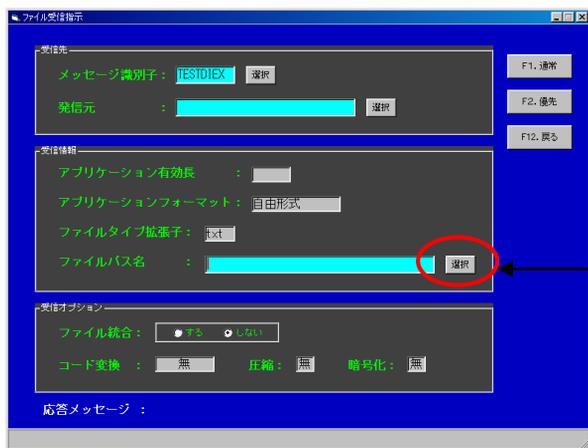


1
メッセージ識別子の「選択」を選択してください



2
登録した「TESTDIEX」のメッセージ識別子をダブルクリックします。

⑫「ファイル受信指示」画面で「ファイルパス名」を設定します。



1
ファイルパス名の「選択」ボタンを選択してください



2
「ファイルパス選択」画面から送信テスト用のファイルと同一のパスをダブルクリックします

12. データ送受信テスト(u-DIEX(汎用)センターとのテスト)

⑬.「F2.優先」選択しデータを受信します。

「F2.優先」選択します



⑭.処理が正常に終了したことを確認します。

2

「F12. 戻る」を選択します

1

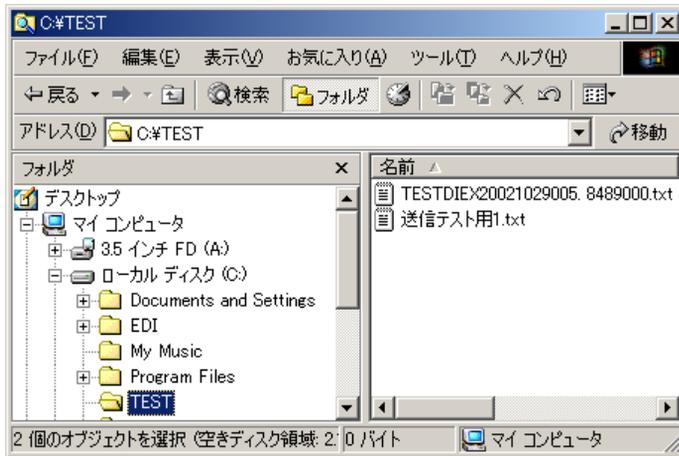
「応答メッセージ」に「000-000 処理は正常に終了しました」が表示することを確認します

※000-000以外の場合はコードを確認し弊社窓口までご連絡願います。

12. データ送受信テスト(u-DIEX(汎用)センターとのテスト)

⑮.受信したデータファイルに問題ないことを確認します。

エクスプローラ等で受信したフォルダにファイルが存在し、内容が正しいことを確認します。



- ・受信したファイルが存在することを確認します
- ・ファイルを開いて内容が正しいことを確認します

1

受信したファイルのあるフォルダを選択します

⑯.移行対象のEDI-IDが複数ある場合、全てのEDI-IDに対して「8. 利用者名称の切替」～「12. データ送受信テスト(u-DIEX(汎用)センターとのテスト)」を行います。

残りの移行対象EDI-IDがある場合、「8. 利用者名称の切替」に戻り作業を続けてください。

チェックポイント

No	確認内容	チェック
1	<p>データの送信は正常に行えましたか？</p> <p>【確認方法】 1. 送信時の応答メッセージを確認します。 → ⑥</p> <p>2. 「操作メニュー(利用者向け)」から「31. 受信ファイル照会(蓄積メッセージ)」の「F1.参照照会」を選択する。→ ⑧- 1</p> <p>【結果】 1. 「000-000 処理は正常に終了しました」を表示することを確認します。→⑥</p> <p>2. 送信データが存在することを確認。→ ⑧- 2</p>	
2	<p>データの受信は正常に行えましたか？</p> <p>【確認方法】 1. 送信時の応答メッセージを確認します。 → ⑭</p> <p>2. データの受信したフォルダにファイルが存在し、ファイルの内容が正しいことを確認します→ ⑮</p> <p>【結果】 1. 「000-000 処理は正常に終了しました」を表示することを確認します。→ ⑭</p> <p>2. 受信データが正しいことを確認。→ ⑮</p>	

OKならば次ページに進んでください。

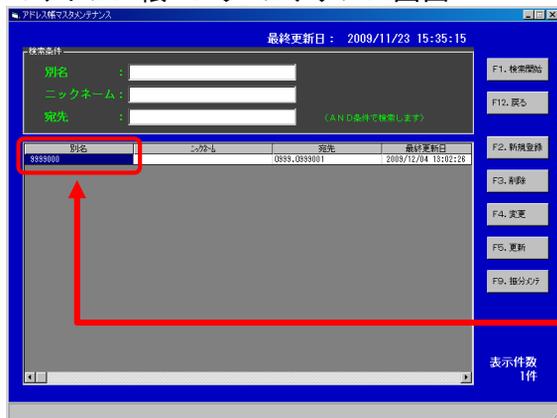
NGならば以下の項目について確認してください。

トラブル発生時確認事項

- 送信指示画面の「宛先」に指定した値がユーザー登録の「取引先コード」と一致していますか？
一致していない場合、「F1.送信」ボタンクリック後、エラーコード「20B-133」が表示されます。

アドレス帳マスタの登録(別名)とユーザー登録の登録(取引先コード)が桁数も含めて一致するように登録してください。

▼アドレス帳マスタメンテナンス画面



▼ユーザー登録画面



同じ値にしてください。

完了

事前にご申請頂いた移行予定にもとづき移行が実施されます。

移行日にお客様側では特に実施頂く作業はございません。



ご利用前に

TNS通信パッケージエラー事例集Webページのご案内

ご利用中にエラーが発生した場合には、以下のアドレスに接続してWebページをご覧ください。

Webページはお気に入りに登録することをお勧めします。

<http://www.d-cruise.jp/udiex/pkg-qa/>

※オールトヨタイントラネットまたはインターネットへの接続が必要です。

ご協力ありがとうございました。

これより先の作業は問題発生時のみ実施します。

指示がない限り、作業をしないで下さい。

作業目的

新TNS通信パッケージ(移行版)を削除し以前の環境に戻します。

作業手順

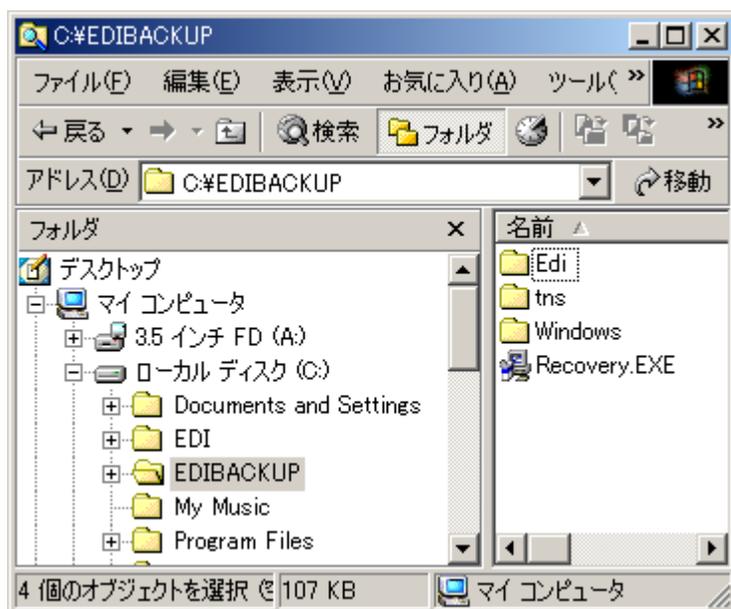


注意

アンインストールを実施する前に確認下さい。

- ・アンインストールプログラムを実行する時は、他のアプリケーションを全て終了してから実行してください。
- ・システム管理メニュー(管理者向け)から「5. システム停止」を行いシステムが停止済みであることを確認してください。

- ① エクスプローラを使用しインストールドライブにある「EDIBACKUP」フォルダから、リカバリープログラムを実行します。



2

Recovery.EXEを
クリックし実行します

1

インストールドライブにある「EDIBACKUP」フォルダを選択します

3 「初期化中....」が表示されます。



4 「Welcome！」画面が表示されます。
「次へ(N)」を選択します。



5 「インストールの準備を完了しました。」画面が表示されます。
「次へ(N)」を選択します。



6 「インストール中....」が表示されます。



7 「インストールを完了しました。」画面が表示されます。
「完了(F)」を選択します

お問い合わせ先

株式会社トヨタシステムズ カスタマーセンター

受付時間 24時間365日



電話

0120-202-399
(フリーコール)



Eメール

helpdesk@tns.toyotasystems.com